

令和4年度

福津市の図書館評価

～市民の人生と地域を豊かにする図書館を目指して～



福津市教育委員会

郷育推進課（福津市立図書館）

目次

はじめに	2
1. 評価の概要	3
2. 評価にあたっての基本方針	3
3. 図書館評価の方法	4
(1) 評価項目と評価指標	4
(2) 評価方法	4
① 指標別評価	4
② 図書館の自己評価	5
③ 関係者（図書館協議会）の意見	5
(3) 評価サイクル	5
4. 評価の結果	6
(1) 評価の説明	10
(2) 分析	11
評価項目① 市民のニーズに応える幅広い資料の充実	11
評価項目② 市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進	12
評価項目③ 利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築	15
評価項目④ 仕事や活動に役立つ資料等の提供	17
評価項目⑤ 課題解決に役立つレファレンスの充実	17
評価項目⑥ 市民との連携・共働体制の構築	18
評価項目⑦ 職員の専門性の向上	19
評価項目⑧ 福津の魅力発見等に役立つ環境づくり	20
評価項目⑨ さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援	20
評価項目⑩ 郷土の歴史や文化が学べる環境の整備	22
(3) 図書館協議会の意見	23
5. 活動報告	25
(1) 目標1：学びの拠点	25
(2) 目標2：創造と交流の拠点	29
(3) 目標3：知の集積拠点	34
6. 参考資料	37
(1) 令和4年度 図書館運営方針	37
(2) 図書館評価（評価項目・目標）	39
(3) 令和4年度 サービス指標	44
(4) 令和4年度 福津市公共図書館の事業報告	46
(5) 福津市図書館の経営方針（抜粋）	61
(6) 図書館利用に関するアンケート	64
(7) 福津市の図書館	70

はじめに

福津市における図書館法第7条の3の規定に基づく「運営の状況に関する評価等」は、令和3（2021）年度まで、図書館年報に記載している、「サービス指標（市民1人当たりの貸出数・蔵書冊数、蔵書回転率等の指標）」や「利用者満足度調査」を公表しているだけでした。市の行政評価や教育委員会の点検・評価の対象も主要事業だけであり、図書館事業の施策体系や全体像が把握できず、次年度以降の図書館経営や事業計画等に活かしきれない状況にあります。

近年、公共図書館には、地域活性化、まちづくりなどの拠点として新たな役割を果たすことや、地域の課題解決に向けた学習と活動の拠点として地域社会に貢献することなどが求められています。地方自治体の行財政状況も年々厳しさを増しており、客観的根拠に基づく政策立案や費用対効果の高い行政経営の必要性が高まっています。

これからの公共図書館は、資料を収集・保存・提供し、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するという図書館本来の目的に加え、市民生活を支える「知の拠点」、人づくり、地域づくりを担う「交流拠点」としての施設機能と経営資源を有効に活用し、より一層幅広く情報発信や事業展開を図っていく必要があると言えます。

教育委員会では、基本理念に「市民の人生と地域を豊かにする図書館」を掲げた、「福津市図書館の経営方針」を令和3年10月に策定しました。令和4年度から福津市の図書館は、人づくり、地域づくりに貢献できる「知の交流拠点」として、市民に愛され、市民の期待に応え、市民とともに進化し続ける図書館づくりを進めています。

この経営方針の計画期間は、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間とし、社会経済情勢や法令の改正等を踏まえ、必要に応じ方針の見直しを行うとしています。進行管理の方法は、マネジメント（PDCA）サイクルに基づき、毎年度の運営方針と目標を定め、取組状況を検証し次年度以降の事業活動等に活かします。また、事業年度終了後には、目標の達成状況、成果と課題等を図書館評価に記載して、図書館協議会と教育委員会に報告し公表することになっています。

このように福津市の図書館評価は、経営（運営）方針に基づく取組項目を評価・検証し、図書館経営に役立てたり、説明責任を果たしたりするために行うものですが、導入初年度であり評価項目（指標）の設定や評価方法等が完全なものになっていないとは言えません。これは、図書館協議会からの指摘事項でもあり、精度を高めていく必要があります。今後も図書館の経営改善・改革、読書活動の推進や図書館サービスの向上を図るために、国、県、先進自治体を調査研究するとともに、図書館協議会で議論を深めながら、図書館評価制度をさらに進化（昇華）させたいと考えます。

1. 評価の概要

この評価は、「福津市図書館の経営方針（令和3年10月策定）」に掲げた「市民の人生と地域を豊かにする図書館」の実現のため、及び、図書館法第7条の3に基づき、図書館の経営改善と図書館サービスの向上を図るために行うものです。

各年度の経営に関する目標及び指標を設定し、図書館サービス、図書館の経営状況について、目標の達成状況の評価を行い、結果を公表します

2. 評価にあたっての基本方針

福津市の図書館は、一人ひとりの自己実現、誰もが地域の担い手や未来の創り手となれるよう、市民生活を支える「知の拠点」、人づくりと地域づくりを担う「交流拠点」として、令和4年度から令和8年度までの5年間にわたり、新しい交流や文化の創造に貢献できる図書館づくりを推進します。

令和4年度は、図書館経営方針の基本理念である「市民の人生と地域を豊かにする図書館（知の交流拠点）」の実現を目指し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、3つの方向性（学びの拠点、創造と交流の拠点、知の集積拠点）から図書館サービスの向上・充実に取り組みます。

目標(方向性)1 学びの拠点:本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり

〔市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」〕

- 市民のニーズに応える幅広い資料の充実を図ります。
- 市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援します。
- 利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境づくりを進めます。

目標(方向性)2 創造と交流の拠点:ともに支え合い高め合う図書館づくり

〔市民と共働り、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」〕

- 仕事や活動に役立つ資料等の提供を行います。
- 課題解決に役立つレファレンスの充実を図ります。
- 市民参画、市民との連携・共働りの体制づくりを支援します。
- 職員の専門性の向上に努めます。

目標(方向性)3 知の集積拠点:シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

〔郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」〕

- 福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めます。
- 学校との連携・共働りを深め、さまざまな個性や市民性が育つことを支援します。
- 郷土の歴史や文化を学ぶための環境整備を図ります。

3. 図書館評価の方法

(1) 評価項目と評価指標

令和4年度の図書館運営方針に基づき、10の評価項目と具体的な評価指標を定めます。

[目標1]学びの拠点:本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり

(評価項目①～③)

図書館利用の促進、資料(情報)の収集・保存・提供、シニア・障がい者等の環境づくり、ICTを活用したサービスの充実等につながる指標を設定し評価します。

- ①市民のニーズに応える幅広い資料の充実
- ②市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進
- ③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築

[目標2]創造と交流の拠点:ともに支え合い高め合う図書館づくり

(評価項目④～⑦)

市民との共働、関係機関等との連携・協力の推進、職員の資質向上につながる指標を設定し評価します。

- ④仕事や活動に役立つ資料等の提供
- ⑤課題解決に役立つレファレンスの充実
- ⑥市民との連携・共働体制の構築
- ⑦職員の専門性の向上

[目標3]知の集積拠点:シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

(評価項目⑧～⑩)

地域の歴史と文化の保存・活用、子ども読書活動の推進等につながる指標を設定し評価します。

- ⑧福津の魅力発見等に役立つ環境づくり
- ⑨さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援
- ⑩郷土の歴史や文化が学べる環境の整備

(2) 評価方法

評価は、令和3年度の図書館協議会で協議し、「指標別評価(3段階評価)」と「図書館の自己評価(4段階評価)」の二つを用いることにしました。

①指標別評価

指標別評価は、各指標の目標値と実績値を比較して割り出された目標達成率で設定された「評点3から1までの3段階」で行います。

指標別評価 (評点)	目標達成率 (年度実績/年度目標×100)
3	目標値の100%以上
2	目標値の80%以上100%未満
1	目標値の80%未満

目標達成率を算定するうえで必要な「年度目標値」は、別表「福津市公共図書館の図書館評価（評価項目・目標）」に基づき設定しています。なお、評価項目の指標、数値目標の基準、年度目標等は、図書館協議会の意見を聴き、必要に応じ見直します。

②図書館の自己評価

取組内容を明確に評価できるように、評価基準を設けています。評価は、評価項目ごとに指標別評価（評点）の平均点を算出し「評価基準」に基づき設定された「AからDまでの4段階」で行います。この評価は、図書館の自己評価となります。

評価	評価基準	評点の平均
A	目標を達成できた	2.7 以上
B	目標をほぼ達成できた	2.4 以上 2.7 未満
C	目標をあまり達成できなかった	1.8 以上 2.4 未満
D	目標を達成できなかった	1.0 以上 1.8 未満

③関係者（図書館協議会）の意見

福津市公共図書館評価票（自己評価及び改善策等）については、福津市立図書館協議会に報告し、評価項目全体を通しての意見聴取を行います。

□視点

- ・自己評価の内容は適切か。
- ・自己評価を踏まえた改善策は適切か。
- ・評価指標の設定が適切か。

(3) 評価サイクル

- | | |
|-------------------|---------|
| ①評価指標・目標値等の策定 | 2月～3月 |
| ②事業の実施 | 4月～翌年3月 |
| ③利用者アンケートの実施 | 翌年1月 |
| ④自己評価 | 翌年4月～6月 |
| ⑤報告（図書館協議会・教育委員会） | 翌年7月～8月 |
| ⑥評価結果の公表 | 翌年9月以降 |

4. 評価の結果

令和4年度の評価結果は、次表のとおりです。

令和4年度 福津市図書館評価一覧

令和4年度の運営方針	評価	主な指標	評点		
<p>(1) 市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」</p> <p>[本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり]</p>	①市民のニーズに応える幅広い資料の充実を図ります。 [評価項目：①市民のニーズに応える幅広い資料の充実]				
	B	資料数(蔵書数)	全体	3	
			図書	3	
			障がい者対応	3	
		市民1人当たりの資料数		2	
		電子図書館サービス	提供資料数	3	
		資料費	全体	2	
			うち図書	2	
			うち電子図書	3	
		市民1人当たりの資料費(図書)		2	
		図書資料についての利用者満足度(資料の豊富さ、充実度)	一般書	2	
	児童書		2		
	指標別評価(評点)の平均		2.5		
	②市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援します。 [評価項目：②市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進]				
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館行事(講演会・講座・映画会・資料展示等)の実施 ・市民活動団体、自主学习グループ等への発表の場の提供 ・郷育カレッジとの連携による講座開催 ・行政機関や他機関(団体)との連携による多様な学習機会(コラボイベント)の提供 	A	貸出資料数(電子図書館を除く)	全体	3
				うち個人	3
				うち市内個人	3
			シニア(60歳以上)等の利用状況	利用者数	3
				貸出資料数	3
			市民1人当たり貸出資料数(電子図書館を除く)		3
資料回転率(電子図書館を除く)			3		
電子図書館サービス			貸出点数	3	
			資料回転率	3	
			閲覧回数	3	
映画会			開催回数	3	
			参加者数	1	
一般市民向け、講座、講演会、セミナー等			開催回数	3	
	参加者数	1			
展示会等	開催回数	3			
指標別評価(評点)の平均		2.7			

令和4年度の運営方針	評価	主な指標	評点		
	③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境づくりを進めます。 [評価項目：③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築]				
	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出以外でも利用しやすい環境づくり ・図書館ホームページの充実、図書館情報誌（広報誌）の刊行 ・広報活動・情報発信、インターネット等による利用促進、情報の提供 	B	年間開館日数（2館平均）	3	
			新規登録者数	3	
			市民登録率	1	
			来館者数	3	
			貸出利用者数	3	
			予約・リクエスト件数（電子図書館を除く）	3	
			ホームページアクセス件数	1	
			ホームページ更新回数	2	
			SNS更新(掲載)回数	3	
			広報ふくつ「図書館関係」掲載回数	2	
			図書館情報誌発行回数	3	
			特集コーナー開設回数	3	
			図書館費総額	2	
			市民一人当たりの図書館費	2	
利用者アンケートにおける満足度（図書館に対する総合的な評価）			3		
指標別評価（評点）の平均	2.5				
(2) 市民と共働り、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」 [ともに支え合い高め合う図書館づくり]	①仕事や活動に役立つ資料等の提供を行います。 [評価項目：④仕事や活動に役立つ資料等の提供]				
	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラアステージ図書館と役割分担・連携による「ビジネスコーナー」「医療・健康情報コーナー」「子育て支援コーナー」などの充実 ・関係機関と連携によるチラシやパンフレット等の資料の収集と提供 ・関連講座等の開催、テーマ展示による情報提供などの検討 ・暮らしや仕事に役立つセミナーの開催や各種専門機関との連携 	A	連携事業の連携先機関数	3	
			自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数	3	
			シニア向け、講座・セミナーの開催	回数	3
				参加者数	3
			指標別評価（評点）の平均	3.0	

令和4年度の運営方針	評価	主な指標	評点	
②課題解決に役立つレファレンスの充実を図ります。 [評価項目：⑤課題解決に役立つレファレンスの充実]				
<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館協同データベースへの登録とその活用 ・ホームページや電子メール等によるレファレンスサービスの検討 ・商用データベース（新聞・雑誌、政策・法律、自然科学・医学、事典・辞書等）導入に向けての研究 ・他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化 	B	レファレンス件数	2	
		レファレンスに関する利用者満足度	3	
		図書館間相互貸借資料数	貸出資料数	2
			借受資料数	3
		指標別評価（評点）の平均	2.5	
③市民参画、市民との連携・共働の体制づくりを支援します。 [評価項目：⑥市民との連携・共働体制の構築]				
<ul style="list-style-type: none"> ・人と人との交流を生み出す仕掛けづくりや図書館施設等の利用促進 ・地域コミュニティや目的別コミュニティとの連携 ・読書ボランティア、図書館運営サポートボランティア等の育成、連携及び支援 ・未来共創センター、市民共働・公民連携によるまちづくり活動への情報提供・活動場所の提供 ・子ども読書活動推進ボランティアとの共催による「読書まつり」の開催 	A	図書館・読書ボランティア活動者数	—	
		ボランティアとの共働事業の件数	3	
		ボランティアとの共働事業の延べ実施回数	3	
		読書ボランティア派遣回数	—	
		読書ボランティア養成講座受講者数	3	
		児童書等団体貸出資料	3	
		雑誌スポンサー制度	協力者数	2
			タイトル数	2
		指標別評価（評点）の平均	2.7	
④職員の専門性の向上に努めます。 [評価項目：⑦職員の専門性の向上]				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域やまちづくりの課題解決のための情報提供 ・スキルアップ研修や実務研修等への参加による先進情報の収集、資質・能力の向上 ・研修内容の共有化 	A	組織内研修の実施回数(2館平均)	3	
		専門性の向上につながる研修の受講	3	
		職員1人当たりの研修参加回数(2館平均)	3	
		指標別評価（評点）の平均	3.0	

令和4年度の運営方針	評価	主な指標	評点		
<p>(3) 郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」</p> <p>[シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり]</p>	<p>①福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めます。 [評価項目：⑧福津の魅力発見等に役立つ環境づくり]</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料や行政資料の収集・活用・保存（再掲） ・郷土学習や次世代への継承に役立てる資料のデジタルアーカイブ化の検討 ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供 	A	地域資料数	3	
			デジタル化した地域資料数	3	
			講座、講演会、セミナー等のうち市の歴史・文化等に関連性のあるもの	回数	3
				参加者数	3
			指標別評価（評点）の平均		3.0
	<p>②学校との連携・共働を深め、さまざまな個性や市民性が育つことを支援します。 [評価項目：⑨さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援]</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学校図書館との連携 ▶市内小学校への長期貸出・リクエスト貸出・レファレンス対応、中・高校生へ向けてのヤングアダルトコーナーの充実、図書館見学、職場体験、インターンシップの受け入れ、社会に開かれた教育課程の実現に向けた学校（学校図書館）への支援など ・子育て世代や児童・生徒の読書活動への支援 ▶乳児とその保護者を対象とした「赤ちゃんとのしむ絵本」の刊行とブックスタート事業の実施、子ども情報誌の刊行やおはなし会の開催、保育園等への支援、読書ボランティアの育成や派遣、子育て支援コーナーの充実、子ども司書養成講座・フォローアップ講座の開催など 	B	資料（児童書）数	3	
			子ども(18歳以下)の貸出冊数	2	
			ブックスタート時の配付率（配付者/配付対象者）	2	
			施設向け絵本セット貸出サービス	貸出回数	3
			おはなし会	開催回数	3
参加者数				3	
社会科見学等の図書館見学受入回数			3		
職場体験（小・中学生等）の受入件数			1		
子ども司書養成講座受講者数			3		
子ども司書フォローアップ講座参加者数			—		
子ども司書(体験活動)参加者数			3		
指標別評価（評点）の平均		2.6			
<p>③郷土の歴史や文化を学ぶための環境整備を図ります。 [評価項目：⑩郷土の歴史や文化が学べる環境の整備]</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料館との連携による歴史・郷土学習への支援 ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供 ・関係機関、地域活動団体、ボランティア団体等と連携・共働による図書館資源を活かしたサービスの提供 	A	郷土学習支援、講座、セミナー、講演会等（行政、歴史資料館等との連携）	回数	3	
			参加者数	3	
		文化事業（展示会）の開催回数	—		
		指標別評価（評点）の平均		3.0	

(1) 評価の説明

令和4年度の図書館運営方針に掲げる3つの方向性の達成度を評価する、10の評価項目の状況を見ると、次のとおりとなりました。評価の詳細は「(2)の分析」に記載しています。

目標1「学びの拠点：本（情報）との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり」は評価Aが1つ、評価Bが2つです。評価Aは「②市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進」で、評価Bは「①市民のニーズに応える幅広い資料の充実、③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築」となっています。

この結果から、目標1「学びの拠点（評価項目の評点平均：2.56）」については、目標を「ほぼ達成できた」と判断できます。

目標2「創造と交流の拠点：ともに支え合い高め合う図書館づくり」は評価Aが3つ、評価Bが1つでした。評価Aは「④仕事や活動に役立つ資料等の提供、⑥市民との連携・共働体制の構築、⑦職員の専門性の向上」で、評価Bは「⑤課題解決に役立つレファレンスの充実」となっています。

この結果から、目標2「創造と交流の拠点（評価項目の評点平均：2.80）」については、目標を「達成できた」と判断できます。

目標3「知の集積拠点：シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり」では評価Aが2つ、評価Bが1つでした。評価Aは「⑧福津の魅力発見等に役立つ環境づくり、⑩郷土の歴史や文化が学べる環境の整備」で、評価Bは「⑨さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援」となりました。

この結果から、目標3「知の集積拠点（評価項目の評点平均：2.87）」については、目標を「達成できた」と判断できますが、次年度以降、⑧と⑩の指標、数値目標の基準等は再考の必要があると考えます。

評価A（6項目）	評価B（4項目）	評価C・D
②市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進（評点2.7）	①市民のニーズに応える幅広い資料の充実（評点2.5）	該当なし
④仕事や活動に役立つ資料等の提供（評点3.0）	③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築（評点2.5）	
⑥市民との連携・共働体制の構築（評点2.7）	⑤課題解決に役立つレファレンスの充実（評点2.5）	
⑦職員の専門性の向上（評点3.0）	⑨さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援（評点2.6）	
⑧福津の魅力発見等に役立つ環境づくり（評点3.0）		
⑩郷土の歴史や文化が学べる環境の整備（評点3.0）		

(2) 分析

令和4年度の評価項目別の成果と課題等、指標別の達成状況、令和5年度の数値目標については、以下のとおりです。なお、令和4年度の実績は「5. 活動報告」に記載しています。

目標(方向性)1 学びの拠点:本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり

評価項目① 市民のニーズに応える幅広い資料の充実						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生涯学習を支援する資料の収集、保存、提供 ・郷土資料、行政資料の収集、保存、提供 ・障がい者や活字弱者に対する適切な資料の収集と提供 ・非来館型サービス、読書バリアフリーの推進を図る電子図書館サービスの実施 ・計画的な蔵書管理（体系的な資料の収集・廃棄） ・特別整理（蔵書点検）期間を設け全館資料の整理・点検等の実施 				
指標		令和4年度の状況			評価	令和5年度 数値目標
		目標値	実績	達成率		
資料数 (蔵書数)	全体	260,444冊	261,059冊	100.2%	3	261,510冊
	図書	243,193冊	243,878冊	100.3%	3	244,099冊
	障がい者対応	1,093冊	1,184冊	108.3%	3	1,139冊
市民1人当たりの資料数		3.9冊	3.8冊	97.4%	2	3.8冊
電子図書館	提供資料数	7,500点	7,560点	100.8%	3	5,500点
資料費	全体	21,648千円	19,447千円	89.8%	2	19,193千円
	図書	16,654千円	15,126千円	90.8%	2	14,680千円
	電子図書	1,408千円	1,408千円	100.0%	3	1,800千円
市民1人当たりの資料費(図書)		246円	221円	89.8%	2	215円
図書資料についての利用者満足度	一般書	90.0%	86.0%	95.6%	2	90.0%
	児童書	90.0%	88.9%	98.8%	2	90.0%
指標別評価(評点)の平均					2.5	

※「市民1人当たり」を算定するための人口は、令和5(2023)年3月31日現在の住民基本台帳人口(68,376人)を用いています。

【成果と課題】

○資料の収集、保存、提供

「資料数」は目標を上回りましたが、人口増にもかかわらず資料費等は年々減額され、「市民1人当たりの資料数・資料費」は目標を下回りました。

「図書館利用に関するアンケート調査(令和5年1月実施)」では、不満の理由の1番が、一般書、視聴覚資料の種類や数が少ないということでした。図書館への要望としても「図書や雑誌の充実」が最も多く、学習室や自由空間など居場所の整備、生活や仕事に役立つ情報の提供、乳幼児や児童生徒への読書活動の支援などの声も上がっています。

福津市の財政状況は、今後、さらに厳しくなることが予測されており、資料収集や学習活

動支援のための財源確保が課題となっています。

○電子図書館サービス

電子図書館の成果としては、利便性やサービスの向上、高齢者や障がい者へのサービス充実・利用促進、ヤングアダルトの読書意欲の向上・読書活動の推進、来館時間の確保や来館すること自体が難しい利用者への読書機会の提供、学校における1人1台端末の有効活用、授業や朝の読書活動への活用による読書環境の充実等が期待できます。

しかしながら、福津市電子図書館で提供できる絵本などを含む児童書の電子図書数は約1,500点しかなく、しかも閲覧できるのは図書1点につき1ライセンスが基本です。福津市の児童生徒数(約6,800人)の状況では、読書活動や教育活動への活用が難しい面がありました。4月から「児童書読み放題パックサービス」が提供されることになり、学校支援のために、マルチライセンス型(同時接続数無制限)の電子図書を導入し、児童向け資料数の少なさを補完できるようにしました。

その一方、「電子図書の充実(魅力的な蔵書構成)」と「広報活動による利用促進」が課題となっています。電子図書(公共図書館用)の出版点数が少ないこと、紙の本に比べ購入費が高く市の提供数も約7,500点と限られていることから、多様な利用者ニーズに応えきれない状況です。

また、令和3年度に購入した電子図書(約7,200点)のうち、約2,400点が期間又は回数限定型(2年間・52回の貸出)であり、令和5年度中に利用期限を迎えます。資料数が大幅に減少することで、利用数等の維持・向上や学校への支援が困難になる恐れがあります。

【今後の方向性・改善策等】

○資料の収集、保存、提供

福津市の公共図書館は、利用者サービスの向上と業務の効率化の両面から図書館経営のあり方を模索しながら、限りある財源の有効活用を図ります。また、計画的な蔵書管理を行い、市民の生涯学習活動に必要な資料の収集等に努めます。

○電子図書館サービス

福津市特有の問題として、大規模な小・中学校については、蔵書冊数の不足や、学校図書館利用にも制限がかかっています。読書活動の推進、読書環境の整備といった観点から、学校支援のための児童書や電子図書を充実する必要があります。

電子図書館は、「音声読み上げ機能」や「文字の大きさ変更」など読書バリアフリーに対応した機能を有し、時間と空間の制限もなく、高齢者や障がい者の方へのサービス充実も図れることから、積極的な広報活動や予算確保を行い、利用促進につなげます。

評価項目② 市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進						
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館行事(おはなし会・講演会・講座・映画会・資料展示等)の実施 ・郷育カレッジとの連携による講座開催 ・行政機関や他機関(団体)との連携による多様な学習機会(コラボイベント)の提供 ・市民活動団体、自主学习グループ等への発表の場の提供 					
	指標	令和4年度の状況			評価	令和5年度 数値目標
	目標値	実績	達成率			
貸出資料数(電子 図書館を除く)	全体	588,674冊	648,138冊	110.1%	3	648,138冊
	個人	577,580冊	633,241冊	109.6%	3	633,241冊

	市内個人	508,401冊	555,828冊	109.3%	3	555,828冊
シニア(60歳以上)の利用状況	利用者数	56,777冊	67,619冊	119.1%	3	67,619冊
	貸出資料数	189,478冊	218,240冊	115.2%	3	218,240冊
市民1人当たり貸出資料数		7.5冊	8.1冊	108.2%	3	8.1冊
資料回転率(電子図書館を除く)		2.3回	2.5回	109.8%	3	2.5回
電子図書館サービス	貸出点数	1,500点	2,353点	156.9%	3	2,000点
	資料回転率	2.0回	3.7回	186.7%	3	2.5回
	閲覧回数	3,000回	4,316回	143.9%	3	4,000回
映画会	開催回数	4回	4回	100.0%	3	4回
	参加者数	150人	105人	70.0%	1	120人
一般市民向け、講座、講演会、セミナー等	開催回数	25回	30回	120.0%	3	29回
	参加者数	792人	616人	77.8%	1	845人
展示会等	開催回数	12回	27回	234.8%	3	23回
指標別評価(評点)の平均					2.7	

※令和5年度は、図書館システム更新のため3週間(10月11日から10月31日まで、特別整理期間を含む)の臨時休館を予定しています。

【成果と課題】

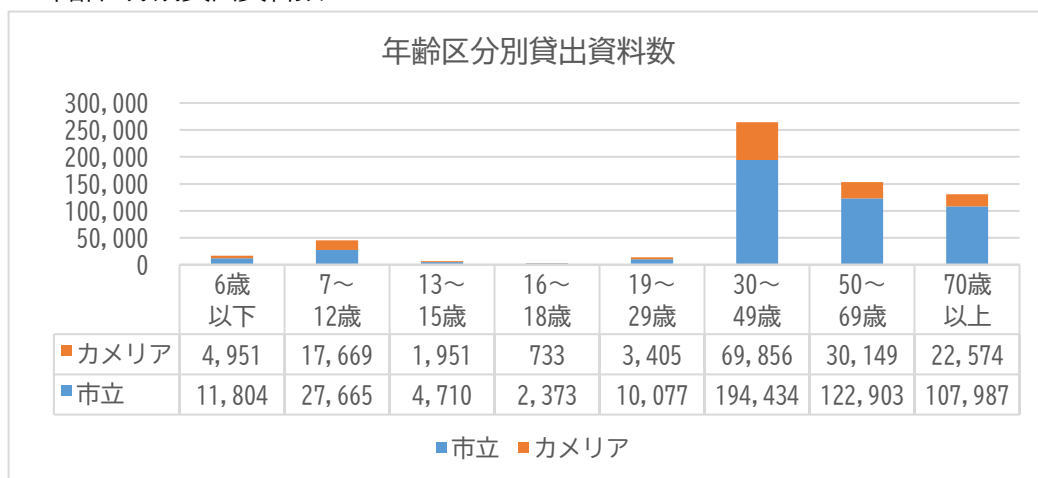
○資料の貸出利用状況等

①来館型サービス

令和2・3年度は、緊急事態宣言や福岡県コロナ特別警報が長期間にわたり発令されたことで、臨時休館を強いられ、貸出資料数等は、コロナ禍前に比べ2～3割落ち込んでいました。令和4年度は、行動制限が緩和され開館日数、利用者数の増加に伴い、貸出資料数、市民一人当たりの貸出資料数、蔵書回転率は目標を大きく上回りました。その一方で、年代別や地域別の利用状況に偏りが見られます。

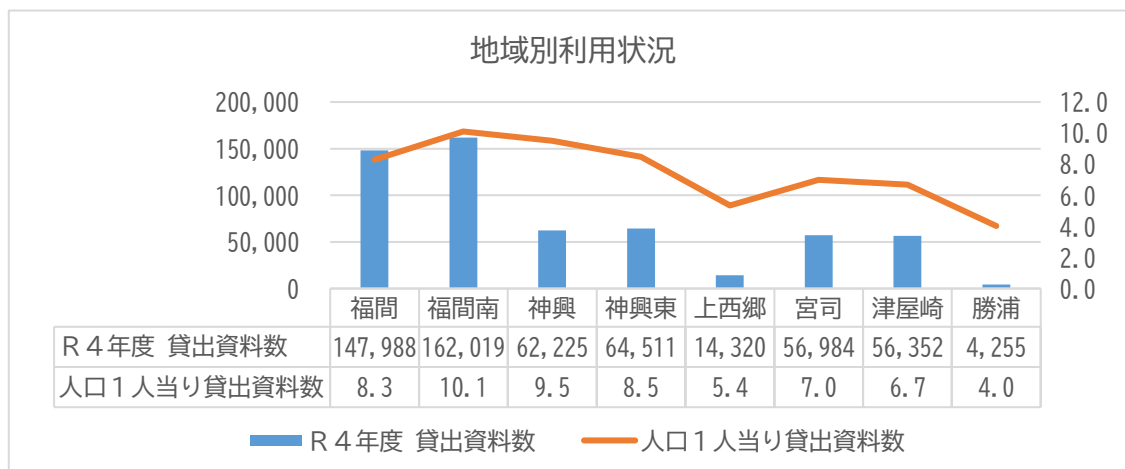
年代的にみると、子育て世代30歳～49歳までの年齢層が264,290冊と最も多く、29歳以下の年齢層が85,338冊(約13%)と最も少なくなっています。特に中学生以上30歳未満の世代への図書館の利用促進が課題であると言えます。

□年齢区分別貸出資料数



地域別にみると、人口1人当たりの貸出数が多い地域は、福間南 10.1 冊、神興 9.5 冊、神興東 8.5 冊、福間 8.3 冊の順となっています。距離的な要因と考えられますが、農村部である上西郷地域と勝浦地域の貸出数が他の地域に比べ少ない状況です。

□地域別利用状況



②非来館型サービス（福津市電子図書館）

電子図書館は、月平均貸出資料数が2,353点、蔵書回転率3.7回となり、目標を大きく上回りました。また、小中学校への周知、HP等による広報活動や講座の開催など、認知度アップと利用促進を図った結果、実利用者数は昨年度に比べ大幅に増加しています。

□電子図書館利用状況

年度	開館 日数	電子図書 数(点)	実利用者 数(人)	閲覧回数(回)		貸出資料(点)		蔵書回転 率(回)
				年間	月平均	総数	月平均	
R3年度	59	7,223	566	6,475	3,238	2,944	1,472	0.4
R4年度	365	7,560	5,358	51,787	4,316	28,233	2,353	3.7

○図書館行事、多様な学習機会の提供等

一般市民向け講座、講演会等や映画会については、目標以上の開催回数に対し、参加者数が目標を2～3割下回りました。参加者を増やすためには、企画内容、広報活動、開催時期など集客方法に工夫が必要です。

多様な学習機会の提供、市民活動団体等への発表の場の提供、行政、関係機関等への支援については、市立図書館において行政、郷育カレッジや他機関（団体）との連携を意識し取り組みました。読書ボランティア団体、行政、市民、関係機関等への施設開放（研修室、ギャラリー、視聴覚室）を年間280回以上行い、図書館年報の来館者（168,453人）や図書館事業への参加者（3,535人）とは別に5,000人を超える利用がありました。

【今後の方向性・改善策等】

令和5年度以降も、読書ボランティア団体、行政、関係機関等との「つながり・応援・共働」を意識した取組をさらに充実し、図書館の利用促進、読書活動の推進等を図る必要があります。様々な機関・団体との連携・共働体制による発達段階に応じた読書推進活動等に入れ、若い世代の読書の習慣化に取り組みます。

評価項目③ 利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築

指標	令和4年度の状況			評価	令和5年度 数値目標
	目標値	実績	達成率		
年間開館日数（2館平均）	240日	287日	119.6%	3	270日
新規登録者数	1,168人	1,414人	121.1%	3	1,324人
市民登録率	64.2%	50.4%	78.5%	1	51.4%
来館者数	232,047人	281,365人	121.3%	3	281,365人
貸出利用者数	152,182人	172,425人	113.3%	3	172,425人
予約・リクエスト件数 （電子図書館を除く）	40,713件	45,648件	112.1%	3	45,648件
ホームページアクセス件数	109,813件	87,081件	79.3%	1	104,727件
ホームページ更新回数	121回	107回	88.6%	2	117回
SNS更新(掲載)回数	67回	100回	148.8%	3	86回
広報ふくつ掲載回数	19回	16回	86.5%	2	17回
図書館情報誌発行回数	4回	13回	325.0%	3	13回
特集コーナー開設回数	86回	176回	205.8%	3	134回
図書館費総額	154,535千円	148,890千円	96.3%	2	159,583千円
市民1人当たりの図書館費	2,279千円	2,178千円	95.4%	2	2,339千円
利用者アンケート満足度 （総合的な評価）	90%以上	96.4%	107.1%	3	90.0%以上
指標別評価（評点）の平均				2.5	

【成果と課題】

○貸出以外でも利用しやすい環境づくり

開架室等の照明設備のLED化、掲示物の適正化で、館内環境の改善を図りました。一方、滞在型図書館としての機能（学習室やフリースペース等）を市立図書館に付加するための施設改修予算を要望しましたが緊急性や財政的な理由で実現に至りませんでした。

○図書館ホームページの充実、図書館情報誌（広報誌）の刊行

SNS更新回数、図書館情報誌発行回数、特集コーナー開設回数は目標を達成しましたが、HPの更新回数、広報ふくつ掲載回数は目標を達成できませんでした。HPアクセス件数や一般市民向け行事への参加者数も減少していることから、魅力的な情報を頻繁に発信し続けなければならないと考えます。

○広報活動・情報発信、インターネット等による利用促進、情報の提供

新規住民への図書館案内の配付、新たに児童生徒向け図書館案内の作成、配付・配信により図書館のPRやおすすめ本の紹介などを行いました。また、市広報誌への掲載、SNSの活用、図書館情報誌の発行を行い、図書館を利用したことのない人にも図書館の情報が届くようにしています。これらのことに加え、過去2年間のようにコロナ禍による臨時休館がなくなったことも大きく影響し、開館日数、来館者数、貸出利用者数や新規登録者数は目標を

大幅に上回りました。

□利用状況年度比較（福津市全体）

年度	開館日数 (日)	来館者 (人)	貸出利用者(人)		貸出資料(冊・点)	
			総数	1日平均	総数	1日平均
R2年度	252	230,309	154,524	613	595,419	2,363
R3年度	228	224,685	143,873	631	558,844	2,451
R4年度	287	281,365	172,425	601	648,138	2,258
対前年度比較	125.9%	125.2%	119.8%	95.2%	116.0%	92.1%

利用登録状況については、登録率が50.4%になり、昨年度の63.3%から12.9ポイント減少しました。これは、図書館規則の改正に伴い、10年以上の長期にわたり、図書館資料の貸出しを受けていない方（約1万人）の利用登録を取り消したためです。

地域（郷づくり推進協議会）別の登録状況は、福間地域（平均55.2%）に比べ津屋崎地域（平均：36.5%）の登録率が低いのがわかります。

□地域別登録状況

項目	福間	福間南	神興	神興東	上西郷	宮司	津屋崎	勝浦	合計
登録者	9,501	8,357	4,326	4,481	1,360	3,117	3,092	228	34,462
新規登録者	360	360	75	67	24	144	137	6	1,173
人口	17,855	16,032	6,547	7,618	2,675	8,155	8,437	1,057	68,376
登録率	53.2%	52.1%	66.1%	58.8%	50.8%	38.2%	36.6%	21.6%	50.4%
※R3登録率	68.5%	62.0%	89.1%	74.4%	67.9%	45.8%	44.0%	29.1%	63.3%

【今後の方向性・改善策等】

- ・図書館利用や読書人口の割合を高めるために、市の広報誌やソーシャルメディアなどさまざまな媒体を活用し、積極的な情報発信を行うことで、来館者や貸出利用者の増加、新規登録者の確保につなげます。
- ・読書活動推進（貸出利用者数の増加、年齢別・地域別利用状況の改善）のためには、登録率を高めたり、団体貸出等を充実したりする必要があり、ボランティア団体、郷づくり推進協議会や保育園、幼稚園、小学校等の関係機関（団体）との緊密な連携を図ります。
- ・図書館サービスの充実や親切、丁寧、迅速な対応に心がけ、利用者満足度を高めます。
- ・安全安心で快適な図書館環境を整備するために、計画的な改修、大規模改修や滞在型図書館としての機能付加に必要な予算を継続的に要望します。

評価項目④ 仕事や活動に役立つ資料等の提供

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしや仕事に役立つセミナーの開催や各種専門機関との連携 ・カメラアステージ図書館と役割分担・連携による「ビジネスコーナー」「医療・健康情報コーナー」「子育て支援コーナー」などの充実 ・関係機関と連携によるチラシやパンフレット等の資料の収集と提供 ・関連講座等の開催、テーマ展示による情報提供などの検討 					
指標	令和4年度の状況			評価	令和5年度 数値目標	
	目標値	実績	達成率			
連携事業の連携先機関数	3 団体	24 団体	960.0%	3	15 団体	
自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数	7 件	41 件	585.7%	3	29 件	
暮らしに役立つ、講座、講演会、セミナー等	開催回数	3 回	7 回	233.3%	3	5 回
	参加者数	133 人	152 人	119.7%	3	146 人
指標別評価(評点)の平均				3.0		

【成果と課題】

令和4年度は、行政、各種専門機関等との連携が図れ、様々な事業を展開し情報を提供することができました。その結果、すべての評価指標が目標を大きく上回ったことは、図書館が地域の情報発信の拠点として活用される取り組みができたことによるものだと思います。

【今後の方向性・改善策等】

令和5年度以降も、行政や関係機関等との緊密な連携のもと、市民の暮らしや生活に役立つ情報の提供を図ります。また、子育て支援コーナーを設置し子育てに役立つ情報を集約したり、ビジネス支援に関する先進事例を調査研究したりしながら、ビジネスコーナーの更なる充実に努めます。

評価項目⑤ 課題解決に役立つレファレンスの充実

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館協同データベースへの登録とその活用 ・ホームページや電子メール等によるレファレンスサービスの検討 ・商用データベース(新聞・雑誌、政策・法律、自然科学・医学、事典・辞書等)導入に向けての研究 ・他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化 					
指標	令和4年度の状況			評価	令和5年度 数値目標	
	目標値	実績	達成率			
レファレンス件数	2,126 件	2,067 件	97.2%	2	2,067 件	
レファレンスについての利用者満足度	90%以上	98.9%	109.9%	3	90%以上	
図書館間相互貸借 資料数	貸出数	2,104 冊	1,880 冊	89.4%	2	1,982 冊
	借受数	979 冊	1,089 冊	111.3%	3	984 冊
指標別評価(評点)の平均				2.5		

【成果と課題】

レファレンス件数は昨年度より増加しましたが、目標を下回りました。レファレンスに関する利用者満足度は目標を上回っています。

レファレンスの利用者満足度が高いのは、市民ファーストの視点で図書館サービスの提供に心がけ、来館者の方々への目配り、気配り、心配りの「3つの配慮」と親切、丁寧、迅速な接客・接遇に取り組んだ成果だと捉えています。この結果におごることなく、誠心誠意の応対に心がけ、学びや生活に役立つ「知の情報拠点」として認めていただけるよう、より一層努力を重ねます。また、時代の変化を敏感に受け止め、国・県、先進自治体等の最新情報を収集し図書館経営に取り入れ進化していきます。

【今後の方向性・改善策等】

令和5年度以降は、人づくりや地域づくりなどに貢献するために、レファレンス機能を高めるとともに、市民の生活・仕事に関する課題や地域が抱える課題の解決に役立つよう、実用的な情報を提供するコーナーの設置・充実や、行政・専門機関等との更なる連携・共働に努めます。

評価項目⑥ 市民との連携・共働体制の構築						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・人と人との交流を生み出す仕掛けづくりや図書館施設等の利用促進 ・子ども読書活動推進ボランティアとの共催による「読書まつり」の開催 ・未来共創センター、市民共働・公民連携によるまちづくり活動への情報提供・活動場所の提供 ・地域コミュニティや目的別コミュニティとの連携 ・読書ボランティア、図書館運営サポートボランティア等の育成、連携及び支援 				
指標		令和4年度の状況			評価	令和5年度 数値目標
		目標値	実績	達成率		
図書館・読書ボランティア活動者数		—	131人	—	—	131人
ボランティアとの共働事業の件数		2件	10件	500.0%	3	7件
ボランティアとの共働事業の延べ実施回数		10回	75回	750.0%	3	48回
読書ボランティア派遣回数		—	0回	—	—	1回
読書ボランティア養成講座受講者数		5人	18人	360.0%	3	12人
児童書等団体貸出資料		8,390冊	13,017冊	155.1%	3	13,017冊
雑誌スポンサー 制度	協力者数	14人(者)	12人(者)	85.7%	2	13人(者)
	タイトル数	21種	18種	85.7%	2	20種
指標別評価(評点)の平均					2.7	

【成果と課題】

市民との連携・共働については、読み聞かせの魅力伝えることのできる企画や読書ボランティアとタイアップした取組が増え、目標値を大幅に上回りました。読書ボランティア養成講座受講者数、児童書等団体貸出資料も目標値を上回っています。

雑誌スポンサー制度は協力者数・タイトル数がともに減少し目標に達していません。資料購入予算も年々厳しさを増していますので、協力事業者を開拓する必要があります。

【今後の方向性・改善策等】

令和5年度以降も知の交流拠点として、ボランティア団体とのパートナーシップによる事業の推進、読書ボランティアの育成・支援、地域コミュニティや目的別コミュニティへのまちづくり活動の情報提供・活動場所の提供などを通じて、教育委員会の重点目標である、人づくり、地域づくりに貢献していきます。

また、福津市の図書館を利用することで、大人と子どもが読書の楽しみ方を共有し、子どもたちの感情をより豊かなものにできるよう、効果的な学習環境の提供、読書推進活動への支援等について両館で協議し、図書館サービスの充実・向上を目指します。

評価項目⑦ 職員の専門性の向上					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修や実務研修等への参加による先進情報の収集、資質・能力の向上 ・研修内容の共有化 ・地域やまちづくりの課題解決のための情報提供 				
	指標	令和4年度の状況			評価
	目標値	実績	達成率		
組織内研修の実施・受講回数 (2館平均)	16回	49回	306.3%	3	33回
専門性の向上につながる研修の受講回数	7回	29回	414.3%	3	18回
職員1人当たりの研修参加回数 (2館平均)	7回	11回	157.1%	3	9回
指標別評価(評点)の平均				3.0	

【成果と課題】

研修に際しては、職員自ら意欲的・積極的に参加し、資質の向上、情報収集等に努めました。また、日々の業務に活かすとともに情報共有も図っています。

一方、地域やまちづくりの課題解決のための情報提供については、調査研究の段階で実行できていません。

【今後の方向性・改善策等】

図書館サービスを向上させるうえで重要となってくるものは、スタッフ全員が基本となる業務への理解を深めて、利用される方へのサービスを正確に提供することだと考えます。効果的な研修を受講することは、様々な気づきや強い組織づくりへと繋がっていきます。

令和5年度以降も、職員のマネジメント能力や実務能力、専門性の向上を図るために、各種セミナー・講座、実務研修、専門研修等の受講や自己研鑽を奨励します。また、先進的な自治体(図書館)の事例に学び、利用者満足度の高いサービス提供に努めます。

目標(方向性)3

知の集積拠点:シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

評価項目⑧ 福津の魅力発見等に役立つ環境づくり						
指標	令和4年度の状況			評価	令和5年度 数値目標	
	目標値	実績	達成率			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料や行政資料の収集・活用・保存（再掲） ・郷土学習や次世代への継承に役立つ資料のデジタルアーカイブ化の検討 ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供 					
地域資料数	10,985冊	11,177冊	101.8%	3	11,225冊	
デジタル化した地域資料数	1件	1件	100.0%	3	4件	
講座、講演会、セミナー等のうち市の歴史・文化等に関連性のあるもの	開催回数	2回	2回	100.0%	3	2回
	参加者数	18人	28人	156.9%	3	24人
指標別評価（評点）の平均				3.0		

【成果と課題】

令和4年度は、行政等との連携により、まちの歴史・自然などの情報や学びの場を提供することができ目標を達成しましたが、初年度の試みであり、まだ緒に就いたばかりの状況です。福津には、自然や歴史、伝統、文化、遺産、偉人等、素晴らしい人・もの・ことがあります。図書館は「知の集積拠点」として、まちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供ができるように、行政、郷づくり推進協議会、福津郷土史会をはじめ関係機関（団体）との結びつきを強め、福津の魅力発見等に役立つ環境づくりを進める必要があります。

【今後の方向性・改善策等】

公共図書館には、資料を収集・保存・提供し、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するという図書館本来の目的に加え、市民生活を支える「知の拠点」、人づくりと地域づくりを担う「交流拠点」として、新しい交流や文化の創造に貢献していくことが求められています。

令和5年度以降も引き続き、市の自然保護活動やSDGsにつながる事業を企画します。また、歴史資料の保存、文化の継承、まちの価値や認知度・好感度アップにつながるよう、行政、関係機関等と更なるタイアップを図り、まちの歴史や魅力を学べる場の提供、郷土資料のデジタル化の推進等で、市内外の方に情報を発信していきます。

評価項目⑨ さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援					
指標	令和4年度の状況			評価	令和5年度 数値目標
	目標値	実績	達成率		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学校図書館との連携 ・子育て世代や児童・生徒の読書活動への支援 				
資料（児童書）数	59,492冊	62,221冊	104.6%	3	61,428冊

子ども(18歳以下)の貸出冊数	73,359冊	71,856冊	98.0%	2	71,856冊	
ブックスタート時の配付率 (配付者/配付対象者)	98.9%	98.8%	99.9%	2	99.0%	
施設向け絵本セット貸出サービス	貸出回数	38回	78回	208.0%	3	78回
	開催回数	52回	133回	266.0%	3	133回
おはなし会	参加者数	367人	1,264人	391.3%	3	1,264人
	社会科見学等の図書館見学受入回数	4回	7回	175.0%	3	5回
職場体験(小・中学生等)の受入数	1人	0人	0.0%	1	6人(2回)	
子ども司書養成講座受講者数	20人	25人	125.0%	3	20人	
子ども司書フォローアップ講座参加者数	-	13人	-	-	13人	
子ども司書(体験活動)参加者数	3人	67人	2,680.0%	3	35人	
指標別評価(評点)の平均				2.6		

【成果と課題】

小・中学校の職場体験は中止となったために目標を達成できませんでしたが、それ以外は目標を概ね達成できました。

「子ども(18歳以下)の貸出冊数」の達成度は98.0%となっていますが、個人貸出に占める18歳以下の状況を見ると、利用者数13,982人(8.3%)・資料数71,856冊(11.3%)であり、他の年齢層に比べかなり割合が低くなっています。福津市においても全国的に不読率が高くなる中・高校生への読書活動の推進、図書館利用の促進が課題であると言えます。

□年齢別貸出利用状況

項目	館別	6歳以下	7～12歳	13～15歳	16～18歳	18歳以下(小計)	19歳以上(小計)	個人貸出(計)
利用者数	市立	1,863	5,665	979	802	9,309	127,586	136,895
	カメラア	839	3,200	443	191	4,673	27,272	31,945
	計	2,702	8,865	1,422	993	13,982	154,858	168,840
	構成比率	1.6%	5.3%	0.8%	0.6%	8.3%	91.7%	100.0%
資料数	市立	11,804	27,665	4,710	2,373	46,552	435,401	481,953
	カメラア	4,951	17,669	1,951	733	25,304	125,984	151,288
	計	16,755	45,334	6,661	3,106	71,856	561,385	633,241
	構成比率	2.6%	7.2%	1.1%	0.5%	11.3%	88.7%	100.0%

【今後の方向性・改善策等】

福津市の図書館には、行政、郷育カレッジや関係団体、学校、家庭、地域とともに力を合わせ、市民性を持つ子どもたちを育成したり、まちの魅力・価値を伝えたりして、まちへの理解者・協力者、共感者を増やすことも期待されています。

令和5年度以降も、連携・共働体制による発達段階に応じた読書推進活動等を通して読書の習慣化を図り、福津の子どもたちが志をもち未来をたくましく切り拓く力や、人生をより

深く生きる力を身につけてくれることを応援したいと考えます。教育委員会の施策や学校が行う「学びの循環・ひとづくり」への更なる貢献を果たします。

評価項目⑩ 郷土の歴史や文化が学べる環境の整備						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関、地域活動団体、ボランティア団体等と連携・共働による図書館資源を活かしたサービスの提供 ・郷土学習や次世代への継承に役立つ資料のデジタルアーカイブ化（再掲） ・歴史資料館との連携による歴史・郷土学習への支援 ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供（再掲） 				
指標		令和4年度の状況			評価	令和5年度 数値目標
		目標値	実績	達成率		
郷土学習支援、講座、セミナー、講演会等（行政、歴史資料館等との連携）	回数	2回	2回	100.0%	3	2回
	参加者数	18人	28人	156.9%	3	24人
展示会のうち市の歴史・文化の紹介等に該当するもの（開催回数）		—	—	—	—	—
指標別評価（評点）の平均					3.0	

【成果と課題】

「評価項目① 福津の魅力発見等に役立つ環境づくり」で記載した内容と同様ですが、歴史資料館との積極的な連携を図れなかったことが課題となります。カメラアステージ図書館は、複合施設の中にある図書館のため、歴史資料館と連動して利用できることは魅力のひとつであると考えます。歴史・郷土学習への支援は、図書館の取組だけでは効果的でないため、所管部署の文化財課や学校教育課等との更なる連携・共働が必要となります。

【今後の方向性・改善策等】

令和5年度以降は、行政、歴史資料館等と積極的に連携を図り、複合施設としての利点をより有効に活かせるよう取り組んでまいります。

(3) 図書館協議会の意見

図書館評価に関して4名の委員から下記のとおり、ご意見やご提言をいただきました。評価項目・評価指標については、令和4年度の協議会で決定したもので、令和4年度の図書館評価は、この評価項目等で取り組みます。なお、令和5年度の評価項目等については、ご意見やご提言を踏まえ、令和5年度の協議会で検討したいと考えます。

①全体の評価

A委員

全体的に「今後の方向性・改善策等」で示されている内容が具体性を欠いていると感じました。また令和4年度の実績を受けての令和5年度数値目標が目標とするにはずいぶん低いと感じました。長期休館期間を考慮してのことかも知れませんが「前年度と同じようにやっていたら、だいたい達成可能」という感じでは、モチベーションにつながらないのではと感じます。

C委員

評価全体については、関係者の皆さんの努力で概ね素晴らしい結果になっていると思います。今後も期待しています。

D委員

図書館が、福津市民にとって、「知の拠点」、「交流拠点となり」、市民の人生と地域を豊かにする図書館として、成長し続けるために、今回、様々な視点から評価項目が作成され、自己評価をされたということは、とても素晴らしいことだと感じています。

達成率もとても大切なことだと思いますが、様々な事業活動を運営、推進されている職員の皆様にとっても、継続していける環境も重要だと思います。

②評価項目と評価指標について

A委員

「図書館資料についての利用者満足度」はアンケート実施によるものと思われませんが、基となっているアンケートの内容と集計結果、サンプリングの数等、参照元データが示されると尚良いと思います。

SNSは具体的に何を利用して、それぞれの成果がどうであったか、これも参照先に細かいデータがあると尚良いと思います。ホームページやSNSを、そもそもどのように使うか意図しているのか、それぞれの役割を明らかにした上で評価を数値化しないと、対策を検討しづらいと思います。

B委員

評価項目と評価指標に関し、①～⑩の「重み付け＝優先順位」を定めなければ、意味がない。「重み付け」をして、評点を一律3点満点から10点満点にして①～⑩の項目の「重み（優先順位）」に従って、10～3点の満点に変えて評価すべきである。

項目（③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築）中に「図書館から遠距離地域に住民に対する利便性向上」を加筆し、右側の詳細な指標に、「公共施設・小中学校への本の集積」を新たに加えるべきである。

C委員

図書館法等に定めがあるのなら別ですが、評価方法の指標別評価（評点）1の目標達成率が目標値の80%未満というのは厳しすぎる感じがします。一考の余地あります。

③評価方法、評価サイクルについて

A委員

評価方法は、一般的に国内の図書館で用いられる、あるいは、行政で取り入られている方法なのではないでしょうか。なぜ、この評価方法を採用しているのか、理由と妥当性が示されると尚良いと思います。

B委員

④自己評価の次に「⑤分析・次年度への反映」と入れて、⑥報告、⑦評価結果の公表とすべきである。

D委員

評価については、必要に応じて、評価方法の目標達成率や評点などを見直し、検討していきながら、精度を高めていくことも大切だと思います。

5. 活動報告

令和4年度は、図書館経営方針の基本理念「市民の人生と地域を豊かにする図書館」の実現を目指し、3つの方向性（学びの拠点、創造と交流の拠点、知の集積拠点）から図書館サービスの向上・充実に取り組みました。

※活動の詳細は「6 参考資料（4）令和4年度 福津市公共図書館の事業報告」をご参照ください。

（1）目標1：学びの拠点

〔令和4年度の取組概要〕

- 「本との出会い、生涯学習活動等を支える図書館（学びの拠点）づくり」としては、
- ①選書に関する公正性、妥当性や網羅性を高めるために「福津市立図書館資料収集方針」の全面改訂、
 - ②「電子図書館」を利用し教育活動に活かせる「電子図書館活用事業」の実施(新規)、
 - ③市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援する各種イベントの開催、
 - ④開架室等の照明設備のLED化、掲示物の適正化（図書館掲示物取扱要綱の制定）による館内環境の改善(新規)、
 - ⑤新規住民への図書館案内の配付に加え、新たに児童生徒向け図書館案内（リーフレット）の作成、配付・配信による図書館のPRやおすすめ本の紹介(新規)、
 - ⑥図書館未利用者の方にも情報が届くように市広報誌への掲載や、市SNSによる情報発信などに取り組みました。

評価項目① 市民のニーズに応える幅広い資料の充実

【取組状況】

令和4年度も、コロナ禍の1年でしたが、市立図書館では、図書館サービスの向上を図るために、図書館評価の導入、資料収集方針の全面改訂、図書館利用に関するアンケート調査の実施、行政、関係・専門機関との連携事業などに取り組むことができました。また、カメラアステージ図書館では推薦本を紹介する「選書ツアー」を開催。図書館ユーザーが書店で、市民の方々に読んでもらいたいと思う推薦本を選書し、その中から、図書館に所蔵することが望ましい本を選定（購入）しています。

○市民の生涯学習を支援する資料の収集、保存、提供

令和4年度は、資料の収集、保存、提供について、選書に関する公正性、妥当性や網羅性を高めるとともに、市民の理解・協力を得るために「福津市立図書館資料収集方針（平成17年策定）」を全面改訂しました。

図書館資料数は、令和5年3月末で261,059冊(点)となっています。令和4年度の受入資料数10,912冊に対し、不要となった資料数は11,814冊で、昨年度末に比べ902点減少しました。主な減少要因は、市立図書館において不要資料(閉架書庫)の整理等を行ったことによるものです。

蔵書割合としては、一般書が一番多く、144,439冊で55.3%、次に児童書が60,385冊で23.1%となっています。この2つにヤング4,588冊(1.8%)を含めると、蔵書全体の約8割

を占めています。

□分類別蔵書数


蔵書分類	令和3年度末			令和4年度末			年間増減
	市立	カメラア	計	市立	カメラア	計	
一般書	117,168	27,641	144,809	115,708	28,731	144,439	△ 370
児童書	41,348	17,684	59,032	41,854	18,531	60,385	1,353
ヤング	2,703	1,302	4,005	2,663	1,925	4,588	583
郷土	4,695	476	5,171	4,486	519	5,005	△ 166
文庫	14,719	5,307	20,026	14,320	4,988	19,308	△ 718
参考	4,433	743	5,176	3,237	744	3,981	△ 1,195
歴史	0	6,101	6,101	0	6,172	6,172	71
AV資料	5,595	1,643	7,238	5,480	1,681	7,161	△ 77
雑誌	8,089	2,314	10,403	8,425	1,595	10,020	△ 383
合計	198,750	63,211	261,961	196,173	64,886	261,059	△ 902

○非来館型サービス、読書バリアフリーの推進を図る電子図書館サービスの実施

電子図書館は、図書館に来館することなく、パソコンやスマートフォンから専用サイトに接続することで、いつでもどこでも電子図書を利用（貸出・返却・閲覧等）できるインターネット上の図書館（非来館型）サービスです。福津市では「非来館型サービス」の提供や「読書バリアフリー」の推進を図るために、令和4年2月に電子図書館を導入しました。

令和4年度は、市立図書館と学校との連携・共働による教育環境の充実といった教育的な観点から、新たに「電子図書館活用事業」を実施しています。この事業は、小・中学校の児童生徒及び教職員であれば誰もが「福津市の電子図書館」を利用し教育活動に活かせるようにするものです。

広報活動としては、教職員向けの研修や一般市民向けの利用案内講座も実施し、PRに努めました。また、児童生徒が利用しやすいように学年や内容に応じた特集の編成、図書紹介の入替えなどを頻繁に行っています。

電子図書館利用講座	2/18(土)	電子図書館の紹介と利用促進のための講座「電子図書館を利用しよう！」を開催 【参加者 18名】	
-----------	---------	---	---

評価項目② 市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進

【取組状況】

令和4年度は、「人生と地域を豊かにする図書館」を目指して、両館の連携・協力体制のもと、スタッフ一丸となって新規事業へのチャレンジなど、様々な図書館サービスを実施しています。福津市の図書館で実施した事業は、次表（事業内容別一覧表）のとおり、124事業、延べ実施回数 589 回、参加者数 4,705 人となっています。このうち、一般市民向けの講座、講演会、セミナー等は 20 事業（延べ実施回数 30 回）で参加者数は 616 人でした。

□事業内容別一覧表


行事等の内容	市立図書館			カメラアステージ図書館			福津市全体		
	事業数	回数	参加者数	事業数	回数	参加者数	事業数	回数	参加者数
おはなし会	11	112	1,159人	5	27	239人	16	139	1,398人
鑑賞会	1	1	55人	-	-	-	1	1	55人
映画会	2	4	61人	1	1	44人	3	5	105人
資料展示	12	66	100人	21	110	48人	33	176	148人
講座	9	27	215人	4	4	45人	13	31	260人
講演会	1	1	44人	1	1	34人	2	2	78人
リサイクル	1	随時	(8,656冊)	1	1	(1,664冊)	2	1	(10,320冊)
展示	7	7	285人	3	3	65人	10	10	350人
体験学習(活動)	4	17	349人	12	14	201人	16	31	550人
研修・訓練	2	41	82人	2	10	84人	4	51	166人
イベント	1	1	198人	-	-	-	1	1	198人
読書会	-	-	-	-	-	-	-	-	-
季節装飾	2	2	(短冊229枚)	2	2	380人	4	4	380人
ブックスタート	1	14	597人	-	-	-	1	14	597人
情報提供	0	0	0人	3	14	0人	3	14	0人
その他	12	103	390人	3	6	30人	15	109	420人
合計	66	396	3,535人	58	193	1,170人	124	589	4,705人
うち一般市民向け	10	20	490人	10	10	126人	20	30	616人

○図書館の行事

令和4年度は、コロナ禍の中にあっても、図書館利用の促進、学習機会の充実等を図るために、行政や関係機関（団体）と連携・共働りし、図書館事業を実施することができました。取組の内容は次のとおりです。

①映画会の実施

映画(所蔵DVD)を上映することで図書館の利用促進(図書館への親しみ、読書・資料への興味関心、資料貸出の増加)につなげるために、学校の長期休業中に子ども向けの映画会を3回開催するとともに、一般向けの映画も2回上映しました。

映画上映会 「老後の資金がありません」	1/21(土)	図書館所蔵の上映権付DVD「老後の資金がありません」を上映し、原作資料を展示・紹介。 【参加者44名】	
------------------------	---------	--	---

②市民向け、おはなし会、講演会・講座・セミナー等の開催

図書館と読書ボランティア団体等が連携・共働りし、おはなし会、講演会、講座、セミナー等の図書館事業を開催することができました。また、市民全般を対象とする事業としては、大人のためのおはなし会(6回)、ライブラリーコンサート(1回)、各種講座(14回)、講演会(2回)、体験学習・活動(7回)、読書まつり(1回)を行いました。

[各種講座・講演会・体験学習]

お話を語る入門講座、読み聞かせ講座、読書ボランティア養成講座、歴史講座、ふるさと歴史講座、ふくつの自然を考える、親子ワークショップ、バリアフリーワークショップ、ビブリオトーク、むかしあそび、選書ツアーなど

○郷育カレッジとの連携

郷育カレッジと連携し、市立図書館で2つの講座「ドローン」「干支」やXmas+十二支飛び

出すカード展を開催しました。

○行政機関や他機関（団体）との連携による多様な学習機会の提供

図書館事業以外にも行政と連携した取組は、次のとおりです。

- ・高齢者サービス課（認知症啓発研修、生活支援ヘルパー養成研修、スマホ講座）
- ・都市管理課（知って役立つ相続と空き家活用のお話）
- ・まちづくり推進室（アクティブシニアの健康講座、場づくりファシリテーター実践塾 BA School）
- ・男女共同参画推進室（男女共同参画都市宣言記念講演会）

○市民活動団体、自主学習グループ等への発表の場の提供

読書活動ボランティアの勉強会や発表会の場として視聴覚室や研修室を提供しました。

自主学習グループや生涯学習サークル等に絵画展（6回）、写真展（3回）、書写・書道展（3回）など様々な発表の場としてギャラリーを開放しました。

評価項目③ 利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築



【取組状況】

○貸出以外でも利用しやすい環境づくり

開架室等の照明設備のLED化、掲示物の適正化（福津市立図書館掲示物取扱要綱の制定）で、館内環境の改善を図りました。

○図書館ホームページの充実、図書館情報誌（広報誌）の刊行

新規住民への図書館案内の配付、新たに児童生徒向け図書館案内の作成、配付・配信により図書館のPR、おすすめ本の紹介などを行いました。また、市広報誌への掲載、市SNSによる情報発信、図書館情報誌（子育て応援マガジン・図書館だより）の発行などに取り組みました。

子育て応援マガジン「のびのび」の刊行	毎月	子育て世代や子どもの成長に関わる人に図書館の役立つ情報を届ける。 「シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり」の事業として、子育て世代に図書館の情報が届くように子育て応援マガジンを刊行。 【7月創刊】	
図書館だより発行	年4回 季刊発行	図書館だよりの発行。館内に図書館だよりのテーマに沿った資料を集め運動展示を実施。 夏号「今年の夏を元気に乗り越えるために！」 秋号「津屋崎近郊の秋祭り-御神幸祭-」 冬号「来て！見て！座って！図書館の椅子とソファ」 春号「春に芽吹く薬草 よもぎの豆知識」	

○広報活動・情報発信、インターネット等による利用促進、情報の提供

図書館ホームページや電子図書館、市広報誌・SNSを活用し、図書館資料や行事の案内など積極的な情報発信に努めました。また、図書館が主体となって設置する特集コーナー、児童・ヤングアダルト向けの特設コーナー、本の福袋等による資料展示に加え、行政や関係機関が図書館で開催する講座、セミナー等に関連した資料展示など、両館合計で176回実施し、図書館の利用促進や情報提供を行いました。

(2) 目標2：創造と交流の拠点

[令和4年度の取組概要]

「創造と交流の拠点：ともに支え合い高め合う図書館づくり」としては、

- ①福津市と包括連携協定を締結している民間企業と連携し、暮らしに役立つシニア向けセミナー「資産管理・健康(新規)に関する4講座」の開催
- ②医療・健康コーナー・バリアフリー読書支援コーナーの設置(新規)やがん情報コーナーなどの充実
- ③レファレンス機能を高めるために国立国会図書館の協同データベースへの加入(新規)
- ④職員自身の主体的な学び(知識の習得・情報の収集)や専門性の向上などに取り組みました。

評価項目④ 仕事や活動に役立つ資料等の提供


【取組状況】

○暮らしや仕事に役立つセミナーの開催や各種専門機関との連携

○関連講座等の開催、テーマ展示による情報提供などの検討


市立図書館では、図書館の利用促進、図書館資料や専門機関へのつなぎ及び市民生活関連の課題解決への支援を目的として、福津市と包括連携協定を締結している民間企業と連携し、暮らしに役立つシニア向けセミナーを開催しました。

- ・遺言を活用した相続対策とシニア世代の資産管理は、身近な話題である「相続」をテーマに、1級ファイナンシャル・プランニング技能士による遺言の活用事例、相続税対策、信託制度の紹介などを通して、相続や資産管理に関する基礎知識を身につけていただきました。
- ・アクティブシニアの健康講座(全3回)は、「健康」をテーマに、口の中を整えるセルフケア、血流をよくするための生活習慣、自分でできる骨盤体操など、健康に関する基礎的な知識や習慣などを紹介しました。

アクティブシニアの健康講座	①11/22(火) ②11/29(火) ③12/ 1(木)	「健康」をテーマに、健康講座(全3回)を開催し関連書籍も紹介 【受講者①17名 ②17名 ③21名】	
---------------	-------------------------------------	---	---

カメラアステージ図書館では、認知症や防災など生活に身近な情報を提供するための講座や展示を行いました。

- ・シニアサポート「認知症の方の声を聴き、誰もが住みやすい街をつくりませんか」と題して、認知症について正しく理解し不安を解消するための基本的な知識が学べる講座を開催。パネルの展示と、子どもが理解を深めるクイズラリーも同時開催しました。

シニアサポート講座	1/18(水)	認知症について正しく理解し不安を解消するための基本的な知識を習得するための講座 ・グループワークの実施 ・認知症を学べるパネルの展示 ・子どもへも理解を深めるクイズラリーの開催 【参加者：10名】	
-----------	---------	--	---

- ・防災リテラシーを高めるために「水害についてもっと知ろう!」を企画。台風・豪雨など

の自然災害に備え、防災に関する知識の普及のために水害に対しての必要な備えの紹介、災害への大切な心構えや知識の紹介を行いました。マイタイムラインの記入例の展示と、家庭で作成できるマイタイムラインの用紙も配布しています。

- 「ビジネスコーナー」「医療・健康情報コーナー」「子育て支援コーナー」などの充実
- 関係機関と連携によるチラシやパンフレット等の資料の収集と提供

市立図書館では、健康や医療に関する資料を集めた「健康・医療コーナー」を設置。健康づくりや病気の予防等に役立つ図書を集約し、それらの中から知りたい情報を見つけやすいよう、各資料に件名表示を行いました。また、「がん情報コーナー（がん関連図書の集約配架）」に、がんに関する資料や冊子をまとめた「がん情報ギフト（国立がん研究センター）」を展示し、利用者に提供しています。

カメラアステージ図書館では、バリアフリー読書支援コーナーにリーディングトラッカー（読書補助具）、コミュニケーションボード（意思伝達ツール）等を設置し、LLブックの紹介なども行っています。また、がんコーナーに「がんに関するパンフレット（医療機関提供）」を設置し正しいがん情報を発信するとともに、ビジネスコーナーに「ハローワーク求人情報」を設置し毎週更新しています。

評価項目⑤ 課題解決に役立つレファレンスの充実

【取組状況】

- 国立国会図書館協同データベースへの登録とその活用

レファレンス機能を高めるために国立国会図書館の協同データベースへの加入を6月に行いました。この協同データベースは、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、調べものためのデータベースです。図書館におけるレファレンスサービスと、一般利用者の調査研究活動を支援することを目的としています。

- ホームページや電子メール等によるレファレンスサービスの検討

ホームページや電子メール等によるレファレンスサービスについては、令和5年度に図書館システムの更新を予定していることから、次年度に検討することとしました。

レファレンス件数については、市立図書館で減少、カメラアステージ図書館で増加した結果、昨年度より61件増えています。

□レファレンス状況

項目		令和3年度			令和4年度		
		市立	カメラ	計	市立	カメラ	計
レ ファ レ ン ス	事実調査	12	14	26	15	16	31
	読書案内・相談	16	4	20	6	5	11
	所蔵・所在調査	1,375	585	1,960	1,323	702	2,025
	計	1,403	603	2,006	1,344	723	2,067
書架案内		1,868	967	2,835	2,144	1,395	3,539
合計		3,271	1,570	4,841	3,488	2,118	5,606

- 他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化

相互貸借については、貸出冊数 1,880 冊、借受冊数 1,089 冊の利用があり、貸出冊数が目標を下回り、借受冊数が目標を上回る結果となりました。

□相互貸借状況

R 4 年度 (a)		R 3 年度 (b)		増 減 (a)-(b)	
貸出冊数	借受冊数	貸出冊数	借受冊数	貸出冊数	借受冊数
1,880	1,089	2,084	878	△ 204	211

福岡都市圏 16 市町との相互貸借は、貸出冊数 (913 冊) が借受冊数 (310 冊) を大幅に上回っています。また広域利用は、福岡都市圏の中でも近隣市町の住民の利用が多く、貸出 (利用者・資料) 数は前年度に比べ 20% 以上増加しました。

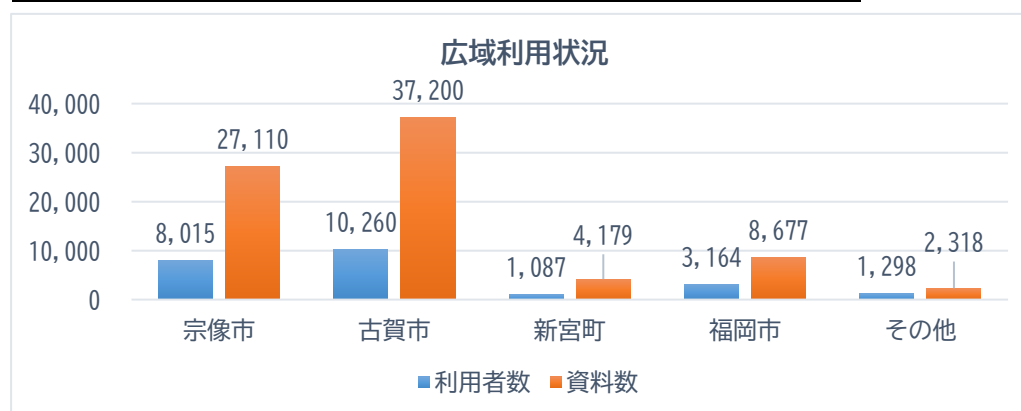
□福岡都市圏

①相互貸借

令和 4 年度			令和 3 年度		
館数	貸出冊数	借受冊数	館数	貸出冊数	借受冊数
27	913	310	27	900	324

②広域利用

	登録者(人)		貸出(人・点)	
	総数	新規	利用者	資料
R 3 年度	5,692	181	19,233	65,030
R 4 年度	4,707	241	23,824	79,484
増減	△985	60	4,591	14,454



評価項目⑥ 市民との連携・共働体制の構築

【取組状況】

- 人と人との交流を生み出す仕掛けづくりや図書館施設等の利用促進
- 地域コミュニティや目的別コミュニティとの連携

令和 4 年度の図書館事業 (124 事業) のうち、市民や関係機関等と連携した事業は 51 事業でした。延べ実施回数は 253 回、参加者数は 1,641 人となっています。

事業内容としては、①行政との連携によるブックスタート事業、資料展示、ふるさと歴史講座等の実施、②市民や読書ボランティア団体との連携・共働による、おはなし会、読書まつり、展示会等の開催、③学校との連携による読書感想文や未来会議企画書の展示、高校生


から大人に向けて本の紹介、図書館見学等の実施、④関係（専門）機関との連携による講座の開催、資料展示等の実施などです。

□事業形態別一覧表

事業の形態	市立			カメラリア			計		
	事業数	回数	参加者数	事業数	回数	参加者数	事業数	回数	参加者数
図書館単独	33	186	2,235人	35	96	663人	68	282	2,898人
行政連携	8	21	18人	6	17	75人	14	38	93人
学校等連携	7	10	269人	3	4	108人	10	14	377人
市民共働・連携	7	39	763人	3	36	196人	10	75	959人
他機関等連携	8	96	168人	9	30	44人	17	126	212人
その他	3	44	82人	2	10	84人	5	54	166人
合計	66	396	3,535人	58	193	1,170人	124	589	4,705人
うち連携事業	30	166	1,218人	21	87	423人	51	253	1,641人

○子ども読書活動推進ボランティアとの共催による「読書まつり」の開催

読書まつりは、11月8日から13日まで、子ども読書連絡協議会と共催しました。おはなし会（読書ボランティア・子ども司書）、展示（読書ボランティアの活動パネル・布絵本）、人形劇（はらぺこあおむし・ソメコとオニ）、講演会（昆虫作家桃山鈴子氏）などを行い、198名の参加がありました。

読書まつり	11/8日(火) ～13(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・読書ボランティア活動パネル展示 ・大人のためのおはなし会（ふくつ語りの会・たんぼぼ語りの会）【参加者26名】 ・親子で楽しむおはなし会（お日さまのうたサークル）【参加者17名】 ・子ども司書のおはなし会 【参加者18名】 ※写真（上） ・展示「布絵本であそぼう！」（津屋崎布絵本の会、はまゆう） ・人形劇「はらぺこあおむし」「ソメコとオニ」（人形劇団やじろべえの公演） ※写真（中） 【鑑賞者75名】 ・絵本「へんしん すがたをかえるイモムシ」の昆虫作家 桃山鈴子氏の講演 ※写真（下） 【受講者62名】 	
-------	--------------------	---	--

○まちづくり活動への情報提供・活動場所の提供





場づくりファシリテーター実践塾 BA School や未来共創センター キッカケラボのSDGs勉強会への施設提供、ポスター掲示、チラシ配置等で連携しました。

○読書ボランティア、図書館運営サポートボランティア等の育成、連携及び支援

読み聞かせボランティアの活動をされている方や読み聞かせに関心のある方に向けて、読み聞かせ（絵本の選び方や読み聞かせの仕方など初歩から学べる）講座、ストーリーテリング（お話を語る）入門講座、「絵本専門士がおしえる 読み聞かせのキソとコツ」講座や、講演会「読み聞かせの持つチカラ 親子で読み聞かせを楽しもう！」を開催し、読み聞かせに必要な基礎知識の提供と技術の向上等を図りました。

また、ボランティアグループ「たんぼぼ語りの会」による、「大人のためのおはなし会 日本のむかし話」を開催。テーマは『日本のむかし話』で、全国を旅するように6つの県のお

話で構成されたストーリーテリング。昔話の素晴らしい世界観を楽しんでいただきました。

読み聞かせ講座	6/15(水) ・22(水)・ 29(水) 7/7(木)	読書ボランティア養成のための4回連続講座 【受講者数 12 名】	
お話を語る入門 (ストーリーテ リング) 講座	10/21(金) 11/4(金)・ 11(金)・ ・25(金)・ 30(水) 12/1(木)	読書ボランティア養成のための6回連続講座 【受講者数 6 名】	
絵本専門士がお しえる「読み聞 かせのキソとコ ツ」	10/16(日)	絵本専門士を講師として、読み聞かせのコツや基礎 知識が学べる講座 講師：絵本専門士(柴田 香氏) 【参加者 11 名】	
読み聞かせの持 つチカラ 親子で読み聞か せを楽しもう!	11/20(日)	子どもの本専門店「エルマー」代表の前園敦子さん を講師に読み聞かせの効果についての講演会を開催 【参加者：34 名(子ども 16 名/大人 18 名)】	

評価項目⑦ 職員の専門性の向上

【取組状況】

- スキルアップ研修や実務研修等への参加による先進情報の収集、資質・能力の向上
- 研修内容の共有化

市立図書館では、福岡県立図書館や福岡県公共図書館協議会主催の専門研修、全国規模で開催されるオンライン研修(図書館の全国大会や研究集会、一般社団法人等が開催する市町村ゼミナール等)、組織内で開催されるスキルアップ研修・実務研修等を受講しました。[研修・セミナー等の参加回数 40 回(63 名)]

- 組織内研修 12 回：23 名(災害対策本部設置運営研修、管理職対象マネジメント研修、人権研修、SNSとコンプライアンス研修、メンタルヘルス研修等)
- 専門研修等 26 回：38 名(福岡県公共図書館等協議会館長等研修会・第2回職員研修会、全国公共図書館研究集会、全国図書館大会群馬大会、子どもの読書活動研修会、NPOブックスタート全国研修会、市町村ゼミナール、自治体DX業務改革セミナー等)
- その他(自己研鑽) 2 回：2 名(ビジネスアサーショントレーニング等)

カメラステージ図書館においては、福岡県立図書館や福岡県公共図書館協議会主催の専門研修や全国規模で開催されるオンライン研修の受講、組織内研修として個人情報研修、危機管理研修、ユニバーサル研修、接客接客研修、人権研修、エコアクション研修、手話講習会などを開催しました。また、接客接客の幅を広げ、安心感や信頼関係に繋げるために、バリアフリーコーナーの充実を図りながら、手話の講習会も取り入れました。手話を使った接客は、挨拶だけでもコミュニケーションの手段となりますので、突然の機会に慌てることがないように日頃から意識して取り組んでいます。

(3) 目標3：知の集積拠点

[令和4年度の取組概要]

「知の集積拠点：シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり」としては、

- ①子育て世代に図書館の情報が届くように子育て応援マガジンの発行(新規)
 - ②小1・中学生向け「図書館案内」の配布・配信、「おすすめの本」など図書を紹介(新規)
 - ③おはなし会や定期的なイベントの開催
 - ④ブックスタート、市内の保育園や幼稚園への「施設向け絵本セット貸出サービス」の実施、
 - ⑤「子ども司書養成講座」の開催
- などを行いました。

評価項目⑧ 福津の魅力発見等に役立つ環境づくり

評価項目⑩ 郷土の歴史や文化が学べる環境の整備

【取組状況】

○地域資料や行政資料の収集・活用・保存

市立図書館において資料整理を行ったことで、郷土資料数は前年度から減少しましたが、地域資料数の目標は達成できました。

□蔵書分類（抜粋）

蔵書分類	令和3年度末			令和4年度末			年間増減
	市立	カメラリア	計	市立	カメラリア	計	
郷土	4,695	476	5,171	4,486	519	5,005	△ 166
歴史	0	6,101	6,101	0	6,172	6,172	71
合計	4,695	6,577	11,272	4,486	6,691	11,177	△ 95

○郷土学習や次世代への継承に役立つ資料のデジタルアーカイブ化の検討

令和4年度は、学校教育課と連携・協力して、福津市の小・中学生が学ぶ、ふるさと「福津」副読本（福津市教育委員会2018年作成）を電子図書館の利用者が誰でも閲覧できるようにしました。


○まちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供

「福津市第2期SDGs未来都市計画」には、推進に資する取組の一つとして「(環境)共働による環境の保全・創造」が盛り込まれています。2030年のあるべき姿は「市民、事業者、教育・研究機関、市が連携しながら一人一人が環境について学び、考え、自然・歴史・景観などの資源を守り生かす取組が進むことにより、豊かな自然環境や歴史と、利便性が高く都市的な生活環境とのバランスが調和したまちを維持しています。」となっています。


令和4年度は、うみがめ課との共催企画「福津の自然を考える講話」や「としょかんのミニ水族館」で、SDGs目標11（住み続けられるまちづくりを）とSDGs目標14（海の豊かさを守ろう）を掲げて開催しました。また、郷土に関する学びの場を提供するために文化財課と連携し「ふるさと歴史講座」などを行っています。

市立図書館では、福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進める

ため、ふるさと歴史講座「わがまちの歴史に触れる」を文化財課との連携により開催。弥生時代（稲作のはじまり）から近世（塩生産と物流）まで、時代ごとの遺跡の特色を紹介することで、まちの歴史等についての学びの場を提供することができました。

ふるさと歴史講座「わがまちの歴史に触れる」	3/15(水)	福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めるための講座 講師：市職員（文化財課） 【受講者 18 名】	
-----------------------	---------	--	---

カメラアステージ図書館では、「ふくつの自然を考える ウミガメのふるさと津屋崎」と題する講話を開催。希少動植物が生息する、ふくつの自然とウミガメに関する講話にあわせ、ウミガメの剥製と関連資料の特設展示を行いました。また、夏休み期間中に水の生き物と関連本と一緒に展示することで、水槽の中にいる生き物の調べ学習や自由研究につなげることをねらいとした、「福津の生き物博士になろう」を企画。津屋崎の海と川でとれる生き物を各水槽に入れて「としょかんのミニ水族館」を開催し、関連本の紹介を行っています。


ふくつの自然を考える ウミガメのふるさと津屋崎	11/12(土)	ふくつの自然とウミガメに関する講話 講師：市職員（うみがめ課） 【参加者 10 名】	
----------------------------	----------	--	---

評価項目⑨ さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援

【取組状況】

○学校や学校図書館との連携

- ・学校連携・支援事業としては、読書ボランティアの育成・支援、子ども司書養成講座の実施、レファレンス、団体貸出や学校図書館支援、「ヤングアダルトコーナー」の充実、電子図書館の利用促進、図書館見学の受け入れなどを行っています。また、地域の学校との連携を図りながら本を通じての世代間交流を目指し、今後の図書館利用の促進と読書推進に繋ぐ企画「高校生が大人にすすめるこの一冊」を開催。福岡県立光陵高等学校の生徒が大人に読んでほしい本をPOPで紹介してくれました。
- ・令和4年度の新規事業としては、「電子図書館活用事業」「児童生徒向け図書館案内」「乳幼児や児童生徒のための図書紹介」などに取り組みました。
 - ①市立図書館と学校との連携・共働による教育環境の充実、子どもの読書活動の推進、電子図書館や1人1台端末の利活用促進等といった教育的な観点から、新たに「電子図書館活用事業」を実施しました。この事業は「福津市電子図書館管理運営要綱」の制定、端末画面へのアイコン設定、教職員の操作研修など、福津市の児童生徒や教職員であれば誰でも電子図書館を利用できるようにするためのものです。
 - ②読書活動推進のための新たな取組として、小学1年生と中学生向けの「図書館利用案内」を作成しています。小学1年生には入学説明用の資料として配付、中学生には1人1台端末に配信しています。


児童生徒向け 図書館案内の 作成	12月	公共図書館や書籍の紹介を行うことで児童生徒の興味関心を高め図書館の利用と読書活動の推進につなげる。 児童生徒向け図書館案内（リーフレット）の作成、配付・配信による図書館のPRやおすすめ本の紹介 〔2月配付・配信〕	
------------------------	-----	--	---

③令和5年度から小中学生向けの「おすすめの本」や「新刊」など図書の紹介を定期的（年3回程度）にネット（Web）配信する準備が整いました。


○子育て世代や児童・生徒の読書活動への支援

福津市の図書館では、おはなし会や定期的なイベントの開催など、親子で楽しめる場や機会を提供することで、乳幼児期からの読書習慣の定着を図っています。

- ・赤ちゃんと一緒に参加できるワークショップの開催など、赤ちゃん連れでも安心して図書館を利用いただけるように、地域の安心できる場所としての情報発信をしています。
- ・ブックスタート、市内の保育園や幼稚園への「施設向け絵本セット貸出サービス」を実施し、乳幼児が「絵本」に出合う機会を増やしています。

ブックスタート	年間14回	赤ちゃんに絵本の楽しさと「絵本」入りブックスタート・バックを贈る事業。4か月児健診時に実施。 【実施率98.8%（贈呈597人/対象者604人）】	
---------	-------	--	---

- ・「子ども司書養成講座」では、子どもの読書環境を整える取り組みの一環として、読書活動を推進するリーダーを養成しています。小学生4～6年生を対象に公募し読書や図書館に関する講義や実習など5講座を開催。12年目を迎える本年度は25名を認定し、総勢260名の「子ども司書」が誕生しました。「フォローアップ講座」や「子ども司書のおはなし会」なども開催し、子ども司書が市立図書館や学校等で活躍できるように支援しています。

子ども司書 養成講座	7/24(日) 26(火) 29(金) 30(土) 8/2(火) 7(日)	子どもの読書環境を整える取り組みの一環として、読書活動を推進するリーダーを養成する。 小学生4～6年生を対象に公募し読書や図書館に関する講義や実習など5講座を開催。「ふくつ子ども司書」に認定し、市立図書館や学校等で活躍できるように支援する。 7/24 開講式・図書館について 7/26 司書の仕事を体験 7/29 図書館の本で調べる 7/30 本のポップカード制作 ※写真（上） 8/2 ビブリアバトル ※写真（中） 8/7 認定式 ※写真（下） 【認定者25名（参加同数）】	
---------------	--	--	---

- ・令和4年度の新規事業としては、「乳幼児やその保護者のための図書紹介」に取り組みました。子育て応援マガジン「のびのび」の発行を行い、子育て世代に図書館の情報が届くようにしています。

6. 参考資料

(1) 令和4年度 図書館運営方針

■図書館経営方針の基本理念(目指す姿)

であう、つくる、つなぐ「知の交流拠点」
(市民の人生と地域を豊かにする図書館)
～本(情報)と人、人と人が出会い、思いを紡ぎ、新たな文化を創り、次代に繋ぐ～

福津市立図書館の使命は、市民同士のつながり、一人ひとりの自己実現、誰もが地域の担い手や未来の創り手となれるよう、人づくり、つながりづくり、地域づくりを支える「知の交流拠点」として、新しい交流や文化の創造に貢献することです。

令和4年度は、図書館経営方針の基本理念である「市民の人生と地域を豊かにする図書館」の実現を目指し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、次の3つの方向性(学びの拠点、創造と交流の拠点、知の集積拠点)から図書館サービスの向上・充実に取り組みます。

(1)本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり

[市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」]

- ①市民のニーズに応える幅広い資料の充実を図ります。
 - ・市民の生涯学習を支援する資料の収集、保存、提供
 - ・郷土資料、行政資料の収集、保存、提供
 - ・障がい者や活字弱者に対する適切な資料の収集と提供
 - ▶大活字本、点字資料、録音資料、手話や字幕入り映像資料、電子資料等の充実、拡大読書器等の整備
 - ・非来館型サービス、読書バリアフリーの推進を図る電子図書館サービスの実施
 - ・計画的な蔵書管理(体系的な資料の収集・廃棄)
 - ・特別整理(蔵書点検)期間を設け全館資料の整理・点検等の実施
- ②市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援します。
 - ・図書館行事(おはなし会・講演会・講座・映画会・資料展示等)の実施
 - ・郷育カレッジとの連携による講座開催
 - ・行政機関や他機関(団体)との連携による多様な学習機会(コラボイベント)の提供
 - ・市民活動団体、自主学习グループ等への発表の場の提供
- ③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境づくりを進めます。
 - ・貸出以外でも利用しやすい環境づくり
 - ・図書館ホームページの充実、図書館情報誌(広報誌)の刊行
 - ・広報活動・情報発信、インターネット等による利用促進、情報の提供

(2)ともに支え合い高め合う図書館づくり

[市民と共働り、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」]

- ①仕事や活動に役立つ資料等の提供を行います。
 - ・暮らしや仕事に役立つセミナーの開催や各種専門機関との連携
 - ・カメラアステージ図書館と役割分担・連携による「ビジネスコーナー」「医療・健康情報コーナー」「子育て支援コーナー」などの充実

- ・関係機関と連携によるチラシやパンフレット等の資料の収集と提供
- ・関連講座等の開催、テーマ展示による情報提供などの検討

②課題解決に役立つレファレンスの充実を図ります。

- ・国立国会図書館協同データベースへの登録とその活用
- ・ホームページや電子メール等によるレファレンスサービスの検討
- ・商用データベース(新聞・雑誌、政策・法律、自然科学・医学、事典・辞書等)導入に向けての研究
- ・他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化
 - ▶福岡県図書館情報ネットワークシステムの利用促進、福岡都市圏図書館等の広域利用、福岡県公共図書館等協議会の相互貸借、大学図書館とのネットワーク

③市民参画、市民との連携・共働の体制づくりを支援します

- ・人と人との交流を生み出す仕掛けづくりや図書館施設等の利用促進
- ・子ども読書活動推進ボランティアとの共催による「読書まつり」の開催
- ・幸せのまちづくりラボ、市民共働・公民連携によるまちづくり活動への情報提供・活動場所の提供
- ・地域コミュニティや目的別コミュニティとの連携
- ・読書ボランティア、図書館運営サポートボランティア等の育成、連携及び支援

④職員の専門性の向上に努めます。

- ・スキルアップ研修や実務研修等への参加による先進情報の収集、資質・能力の向上
- ・研修内容の共有化
- ・地域やまちづくりの課題解決のための情報提供

(3)シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

【郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」】

①福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めます。

- ・地域資料や行政資料の収集・活用・保存(再掲)
- ・郷土学習や次世代への継承に役立てる資料のデジタルアーカイブ化の検討
- ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供

②学校との連携・共働を深め、さまざまな個性や市民性が育つことを支援します。

- ・学校や学校図書館との連携
 - ▶市内小学校への長期貸出・リクエスト貸出・レファレンス対応、中・高校生へ向けてのヤングアダルトコーナーの充実、図書館見学、職場体験、インターンシップの受け入れ、社会に開かれた教育課程の実現に向けた学校(学校図書館)への支援など
- ・子育て世代や児童・生徒の読書活動への支援
 - ▶乳児とその保護者を対象とした「赤ちゃんとのしむ絵本」の刊行とブックスタート事業の実施、子ども情報誌の刊行やおはなし会の開催、保育園等への支援、読書ボランティアの育成や派遣、子育て支援コーナーの充実、子ども司書養成講座・フォローアップ講座の開催など

③郷土の歴史や文化を学べるための環境整備を図ります。

- ・関係機関、地域活動団体、ボランティア団体等と連携・共働による図書館資源を活かしたサービスの提供
- ・郷土学習や次世代への継承に役立てる資料のデジタルアーカイブ化(再掲)
- ・歴史資料館との連携による歴史・郷土学習への支援
- ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供(再掲)

(2) 図書館評価（評価項目・目標）

評価項目	指標		設定理由	数値目標の基準	単位	令和5年度		令和4年度の状況				参考（実績の内訳）	
						修正目標	目標	目標	実績	達成率	評価	市立	カメリア
市民のニーズに応える 幅広い資料の充実	資料数（蔵書数）	全体	計画的収集	過去2年平均と同程度	冊・点	261,510	261,510	260,444	261,059	100.2%	3	196,173	64,886
		（うち図書）	計画的収集	過去2年平均と同程度	冊	244,099	244,099	243,193	243,878	100.3%	3	182,268	61,610
		（うち障がい者対応）	計画的収集	過去2年平均と同程度	冊・点	1,139	1,139	1,093	1,184	108.3%	3	970	214
	市民1人当たりの資料数		計画的収集	過去2年平均と同程度	冊・点	3.8	3.8	3.8	3.8	99.2%	2	2.9	0.9
	電子図書館	提供資料数	計画的収集	5,500点以上/年度末 7,500点以上	点	5,500	7,500	7,500	7,560	100.8%	3	7,560	
	資料費	全体	計画的収集	前年度と同程度 過去2年平均と同程度	千円	19,193	20,366	21,648	19,447	89.8%	2	13,945	5,502
		（うち図書）	計画的収集	前年度と同程度 過去2年平均と同程度	千円	14,680	15,816	16,654	15,126	90.8%	2	11,125	4,001
		（うち電子図書）	計画的収集	一定額	千円	1,800	1,408	1,400	1,408	100.6%	3	1,408	0
	市民1人当たりの資料費（図書）		計画的収集	前年度と同程度 過去2年平均と同程度	円	215	232	246	221	89.9%	2	162.7	58.5
	図書資料についての利用者満足度（資料の豊富さ、充実度）	一般書	利用者満足度の指標（有効回答に占める「満足」「やや満足」の割合）	90%以上	%	90.0	90.0	90.0	86.0	95.6%	2	86.0	-
		児童書			%	90.0	90.0	90.0	88.9	98.8%	2	88.9	-
指標別評価の（評点）の平均										2.5			
市民の自主的・自発的な 生涯学習活動の推進	貸出資料数 （電子図書館を除く）	全体	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均の2%増	冊・点	648,138	615,561	588,674	648,138	110.1%	3	495,184	152,954
		うち個人	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均の2%増	冊・点	633,241	602,249	577,580	633,241	109.6%	3	481,953	151,288
		自治体内個人	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均の2%増	冊・点	555,828	530,660	508,401	555,828	109.3%	3	416,980	138,848
	シニア(60歳以上)等の 利用状況	利用者数	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均と同程度	人	67,619	61,212	56,777	67,619	119.1%	3	56,593	11,026
		貸出資料数	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均と同程度	冊・点	218,240	200,372	189,478	218,240	115.2%	3	178,709	39,531
	市民1人当たり貸出資料数 （電子図書館を除く）		利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均の2%増	冊・点	8.1	7.8	7.5	8.1	108.2%	3	6.1	2.0
	資料回転率（電子図書館を除く）		利用状況の指標	過去2年平均の2%増	回	2.4	2.4	2.3	2.5	109.8%	3	2.5	2.4
	電子図書館サービス	貸出点数	利用状況の指標	1,500点以上/月	点	2,000	1,500	1,500	2,353	156.9%	3	2,353	
資料回転率		利用状況の指標	2回以上/年	回	2.5	2.0	2.0	3.7	186.7%	3	3.7		

評価項目	指標		設定理由	数値目標の基準	単位	令和5年度		令和4年度の状況				参考(実績の内訳)	
						修正目標	目標	目標	実績	達成率	評価	市立	カメラ
		閲覧回数	利用状況の指標	3,000回以上/月	件	4,000	3,000	3,000	4,316	143.9%	3	4,316	
	映画会	開催回数	参加状況の指標	4回	回	4	4	4	5	125.0%	3	4	1
		参加者数	参加状況の指標	120人 150人	人	120	120	150	105	70.0%	1	61	44
	一般市民向け、講座、講演会、セミナー等	開催回数	参加状況の指標	過去2年平均と同程度	回	29	29	25	30	120.0%	3	20	10
		参加者数	参加状況の指標	過去2年平均の5%増	人	845	845	792	616	77.8%	1	490	126
	展示会等	開催回数	参加状況の指標	過去2年平均と同程度	回	23	23	12	27	234.8%	3	24	3
	指標別評価の(評点)の平均										2.7		
利用サービスの環境の構築	年間開館日数(2館平均)	利用の普及	過去2年平均と同程度	日	270	258	240	287	119.6%	3	287	287	
	新規登録者数	利用の普及	過去2年平均の2%増	人	1,324	1,324	1,168	1,414	121.1%	3	992	422	
	市民登録率	利用状況の指標	前年度の2%増 過去2年平均の2%増	%	51.4	58.0	64.2	50.4	78.5%	1	45.6	4.8	
	来館者数	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均の2%増	人	281,365	258,086	232,047	281,365	121.3%	3	168,453	112,912	
	貸出利用者数	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均の2%増	人	172,425	161,312	152,182	172,425	113.3%	3	140,045	32,380	
	予約・リクエスト件数(電子図書館を除く)	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均の5%増	件	45,648	49,419	40,713	45,648	112.1%	3	39,960	5,688	
	ホームページアクセス件数	利用状況の指標	過去2年平均の3%増	回	104,727	104,727	109,813	87,081	79.3%	1	58,123	28,958	
	ホームページ(HP)更新回数	利用状況の指標	過去2年平均の5%増	回	117	117	121	107	88.6%	2	94	13	
	SNS更新(掲載)回数	利用状況の指標	過去2年平均の5%増	回	86	86	67	100	148.8%	3	6	94	
	広報ふくつ「図書館関係」掲載回数	利用状況の指標	過去2年平均と同程度	回	17	17	19	16	86.5%	2	12	4	
	図書館青報誌発行回数	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均と同程度	回	13	9	4	13	325.0%	3	9	4	
	特集コーナー開設回数	利用状況の指標	過去2年平均と同程度	回	134	134	86	176	205.8%	3	66	110	
	図書館費総額	計画的収集	過去2年平均と同程度	千円	159,583	159,583	154,535	148,890	96.3%	2	114,722	34,168	
	市民1人当たりの図書館費	計画的収集	過去2年平均と同程度	円	2,339	2,339	2,283	2,178	95.4%	2	1,677.8	499.7	
	利用者アンケートにおける満足度(図書館に対する総合的な評価)	利用者の満足度を測る指標(有効回答に占める「満足」「やや満足」の割合)	90%以上	%	90.0	90.0	90.0	96.4	107.1%	3	96.4	お客様調査(聞き取り方式)	

評価項目	指標	設定理由	数値目標の基準	単位	令和5年度		令和4年度の状況				参考(実績の内訳)		
					修正目標	目標	目標	実績	達成率	評価	市立	カメラ	
	指標別評価の(評点)の平均										2.5		
レファレンスの充実 課題解決に役立つ	レファレンス件数	レファレンス状況の把握	前年度と同程度 過去2年平均の5%増	件	2,067	2,138	2,232	2,067	92.6%	2	1,344	723	
	レファレンスについての利用者満足度	利用者の満足度を測る指標 (有効回答に占める「満足」「やや満足」の割合)	90%以上	%	90.0	90.0	90.0	98.9	109.9%	3	98.9	-	
	図書館等相互貸借資料数	貸出資料数	活動状況の指数	過去2年平均と同程度	冊	1,982	1,982	2,104	1,880	89.4%	2	1,880	
		借受資料数	活動状況の指数	過去2年平均と同程度	冊	984	984	979	1,089	111.3%	3	927	
	指標別評価の(評点)の平均										2.5		
共働体制の構築・ 市民との連携	図書館・読書ボランティア活動者数	活動状況の指数	過去2年平均と同程度	人	131	131	-	131	-	-	131		
	ボランティアとの共働事業の件数	活動状況の指数	過去2年平均と同程度	件	7	7	2	10	500.0%	3	7	3	
	ボランティアとの共働事業の延べ実施回数	活動状況の指数	過去2年平均と同程度	回	48	48	10	75	750.0%	3	39	36	
	読書ボランティア派遣回数	活動状況の指数	過去2年平均と同程度	回	1	0	0	0	-	-	0		
	読書ボランティア養成講座受講者数	参加状況の指数	過去2年平均と同程度	人	12	12	5	18	360.0%	3	18		
	児童書等団体貸出資料数	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均の5%増	冊	13,017	11,617	8,390	13,017	155.1%	3	11,351	1,666	
	雑誌スポンサー制度	協力者数	参加状況の指数	過去2年平均の2%増	人・者	13	13	14	12	85.7%	2	11	1
		タイトル数	参加状況の指数	過去2年平均の2%増	種	20	20	21	18	85.7%	2	15	3
指標別評価の(評点)の平均										2.7			
仕事や活動に役立つ 資料等の提供	連携事業の連携先機関数	活動状況の指数	過去2年平均と同程度	団体	15	15	3	24	960.0%	3	11	13	
	自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数	活動状況の指数	過去2年平均の5%増	件	29	29	7	41	585.7%	3	23	18	
	暮らしに役立つ講座、講演会、セミナー等	開催回数	参加状況の指数	過去2年平均と同程度	回	5	5	3	7	233.3%	3	5	2
		参加者数	参加状況の指数	過去2年平均の5%増	人	146	146	133	152	114.3%	3	77	75
	指標別評価の(評点)の平均										3.0		

評価項目	指標	設定理由	数値目標の基準	単位	令和5年度		令和4年度の状況				参考(実績の内訳)		
					修正目標	目標	目標	実績	達成率	評価	市立	カメラ	
職員専門性の向上	組織内研修の実施(参加)回数	参加状況の指数	過去2年平均と同程度	回	33	33	16	49	306.3%	3	40	9	
	専門性の向上につながる研修の受講	参加状況の指数	過去2年平均と同程度	回	18	18	7	29	414.3%	3	26	3	
	職員1人当たりの研修参加回数(2館平均)	参加状況の指数	過去2年平均と同程度	回	9	9	7	11	157.1%	2	13	9	
	指標別評価の(評点)の平均										2.7		
福津の魅力発見はじめる環境づくり	地域資料数	計画的収集	過去2年平均と同程度	冊	11,225	11,225	10,985	11,177	101.8%	3	4,486	6,691	
	デジタル化した地域資料数	計画的収集	一定数	点	4	4	1	1	100.0%	3	1	0	
	講座、講演会、セミナー等のうち市の歴史・文化に関連性のあるもの	開催回数	参加状況の指数	過去2年平均と同程度	回	2	2	2	2	100.0%	3	1	1
		参加者数	参加状況の指数	過去2年平均の5%増	人	24	24	18	28	156.9%	3	18	10
	指標別評価の(評点)の平均										3.0		
子どもや個性や市民性を育む教育活動への支援	資料(児童書)数	計画的収集	過去2年平均と同程度	冊	61,428	61,428	59,492	62,221	104.6%	3	42,949	19,272	
	子ども(18歳以下)の貸出資料数	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均の5%増	冊	71,856	70,234	73,359	71,856	98.0%	2	46,552	25,304	
	ブックスタート時の配付率(配付者/配付対象者)	利用状況の指標	過去2年平均と同率	%	99.0	99.0	98.9	98.8	99.9%	2	98.8		
	施設向け絵本セット貸出サービス	貸出回数	利用状況の指標	前年度と同程度 過去2年平均の5%増	回	78	61	38	78	208.0%	3	78	
		おはなし会	開催回数	参加状況の指数	前年度と同程度 過去2年平均と同程度	人	133	91	50	133	266.0%	3	107
	参加者数		参加状況の指数	前年度と同程度 過去2年平均の5%増	人	1,264	849	323	1,264	391.3%	3	1,046	218
	社会科見学等の図書館見学受入回数	活動状況の指数	過去2年平均と同程度	回	5	5	4	7	175.0%	3	4	3	
	職場体験(小・中学生等)の受入数	参加状況の指数	過去2年平均と同程度	人	2	1	1	0	0.0%	1	0	0	
	子ども司書養成講座受講者数	参加状況の指数	一定数	人	20	20	20	25	125.0%	3	25		
	子ども司書フォローアップ講座参加者数	参加状況の指数	前年度と同程度 過去2年平均と同程度	人	13	7	-	13	-	-	13		
	子ども司書(体験活動)参加者数	参加状況の指数	過去2年平均と同程度	人	35	35	3	67	2680.0%	3	62	5	
指標別評価の(評点)の平均										2.6			

評価項目	指標		設定理由	数値目標の基準	単位	令和5年度		令和4年度の状況				参考(実績の内訳)	
						修正目標	目標	目標	実績	達成率	評価	市立	カメリア
郷土の歴史や文化が学べる 環境の整備	郷土学習支援 講座、セミナー、講演会等(行政、歴史資料館等との連携)	開催回数	参加状況の指数	過去2年平均と同程度	回	2	2	2	2	100.0%	3	1	1
		参加者数	参加状況の指数	過去2年平均の5%増	人	24	24	18	28	156.9%	3	18	10
	展示会のうち市の歴史・文化の紹介等に該当するもの(開催回数)		参加状況の指数	過去2年平均と同程度	回	-	-	-	-	-	-	-	-
	指標別評価の(評点)の平均										3.0		
住民基本台帳人口								R5年3月末					
								68,376人					

※目標値(過去2年平均)を算定するにあたって実績のない年度がある場合には、実績がある年度の数値を目標値とした。

※令和4年度の市民登録率の低下(△13ポイント)は10年以上にわたり利用されなかった方の登録を取り消したことによる。

※令和4年度における「ボランティアとの共働事業の延べ実施回数」や「おはなし会の開催回数・参加者数」が大幅に増加しているのは、図書館で開催している「ボランティア団体のおはなし会等の事業」を図書館との共働事業としたことによる。

※令和5年度の図書館評価の目標値は「修正目標」とした。その理由は以下のとおりである。

- ・「数値目標の基準」の欄で二段構えになっている項目について、通常は下段に書いてある内容であるが、令和5年度は上段を採用している。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための行動制限や臨時休館等の影響で利用者数等が大幅に減少した。令和5年度の目標設定にあたっては令和3年度のデータを使用すると目標値が低くなる項目がある。そこで、来館者数、貸出資料・利用者数等の「数値目標の基準」については「過去2年平均と同程度」を「昨年度と同程度」に上方修正した。
- ・令和5年度は、図書館システム更新のため3週間(10月11日から10月31日まで、特別整理期間を含む)の臨時休館を予定している。来館者数、貸出資料・利用者数等の数値目標は「昨年度と同程度」となっているが、昨年度の開館日数(287日)に比べ17日少ないので、実質的には6%増となる。
- ・令和5年度の資料費の目標値は「令和5年度の当初予算額」とした。
- ・令和5年度の電子図書館提供資料数の目標値(5,500点以上)は前年度の目標値(7,500点以上)に比べ2,000点低く設定した。これは令和3年度に購入した「期間限定型電子図書:約2,400点」が令和5年度に利用期限(2年間)を迎えるためである。

(3) 令和4年度 サービス指標

①図書館サービスの測定

□市立図書館

項目	算定式	R4年度		R3年度	R2年度	31年度
市民1人当たり 貸出冊数	$\frac{\text{市内貸出冊数}}{\text{人口}}$	$\frac{428,158}{68,376}$	6.3冊	5.5冊	5.9冊	7.3冊
登録者1人当たり 貸出冊数	$\frac{\text{総貸出冊数}}{\text{登録者数}}$	$\frac{495,184}{35,369}$	14.0冊	9.6冊	10.3冊	12.7冊
市民1人当たり 蔵書冊数	$\frac{\text{蔵書冊数}}{\text{人口}}$	$\frac{196,173}{68,376}$	2.9冊	2.9冊	3.0冊	3.0冊
市民登録率	$\frac{\text{市内登録者数}}{\text{人口}}$	$\frac{31,177}{68,376}$	45.6%	58.7%	59.0%	58.9%
蔵書回転率	$\frac{\text{総貸出冊数}}{\text{蔵書冊数}}$	$\frac{495,184}{196,173}$	2.5回	2.2回	2.3回	2.8回
市民1人当たり 資料費(R3決算)	$\frac{\text{資料費(千円)}}{\text{人口}}$	$\frac{12,956}{68,376}$	189円	200円	218円	220円

□カメラステージ図書館

項目	算定式	R4年度		R3年度	R2年度	31年度
市民1人当たり 貸出冊数	$\frac{\text{市内貸出冊数}}{\text{人口}}$	$\frac{140,496}{68,376}$	2.1冊	1.7冊	1.8冊	2.1冊
登録者1人当たり 貸出冊数	$\frac{\text{総貸出冊数}}{\text{登録者数}}$	$\frac{152,954}{3,800}$	40.3冊	43.4冊	50.1冊	59.1冊
市民1人当たり 蔵書冊数	$\frac{\text{蔵書冊数}}{\text{人口}}$	$\frac{64,886}{68,376}$	0.9冊	0.9冊	0.9冊	0.8冊
市民登録率	$\frac{\text{市内登録者数}}{\text{人口}}$	$\frac{3,285}{68,376}$	4.8%	4.1%	3.6%	3.1%
蔵書回転率	$\frac{\text{総貸出冊数}}{\text{蔵書冊数}}$	$\frac{152,954}{64,886}$	2.4回	2.0回	2.3回	2.8回
市民1人当たり 資料費(R3決算)	$\frac{\text{資料費(千円)}}{\text{人口}}$	$\frac{8,329}{68,376}$	122円	122円	124円	125円

□福津市全体

項目	算定式	R4年度		R3年度	R2年度	31年度
市民1人当たり 貸出冊数	$\frac{\text{市内貸出冊数}}{\text{人口}}$	$\frac{568,654}{68,376}$	8.3冊	7.2冊	7.7冊	9.4冊
登録者1人当たり 貸出冊数	$\frac{\text{総貸出冊数}}{\text{登録者数}}$	$\frac{648,138}{39,169}$	16.5冊	11.5冊	12.5冊	15.3冊
市民1人当たり 蔵書冊数	$\frac{\text{蔵書冊数}}{\text{人口}}$	$\frac{261,059}{68,376}$	3.8冊	3.8冊	3.9冊	3.8冊
市民登録率	$\frac{\text{市内登録者数}}{\text{人口}}$	$\frac{34,462}{68,376}$	50.4%	62.9%	62.6%	62.0%
蔵書回転率	$\frac{\text{総貸出冊数}}{\text{蔵書冊数}}$	$\frac{648,138}{261,059}$	2.5回	2.1回	2.3回	2.8回
市民1人当たり 資料費(R3決算)	$\frac{\text{資料費(千円)}}{\text{人口}}$	$\frac{21,285}{68,376}$	311円	322円	342円	345円

※人口:令和5(2023)年3月31日現在の住民基本台帳人口

②他団体比較

□福岡県内及び全国との比較

サービス指標	福津市	県	県内9市	類団	全国
市民1人当たりの貸出冊数	8.2冊	3.5冊	6.0冊	5.2冊	4.8冊
登録者1人当たりの貸出冊数	11.4冊	9.3冊	14.7冊	10.2冊	11.7冊
市民1人当たりの蔵書冊数	3.6冊	2.9冊	3.0冊	4.2冊	3.2冊
市民1人当たりの受入冊数	144.7冊	85.5冊	98.8冊	124.7冊	103.8冊
蔵書回転率	2.3回	1.2回	2.0回	1.2回	1.5回
市民1人当たりの資料費	329円	190円	232円	253円	203円

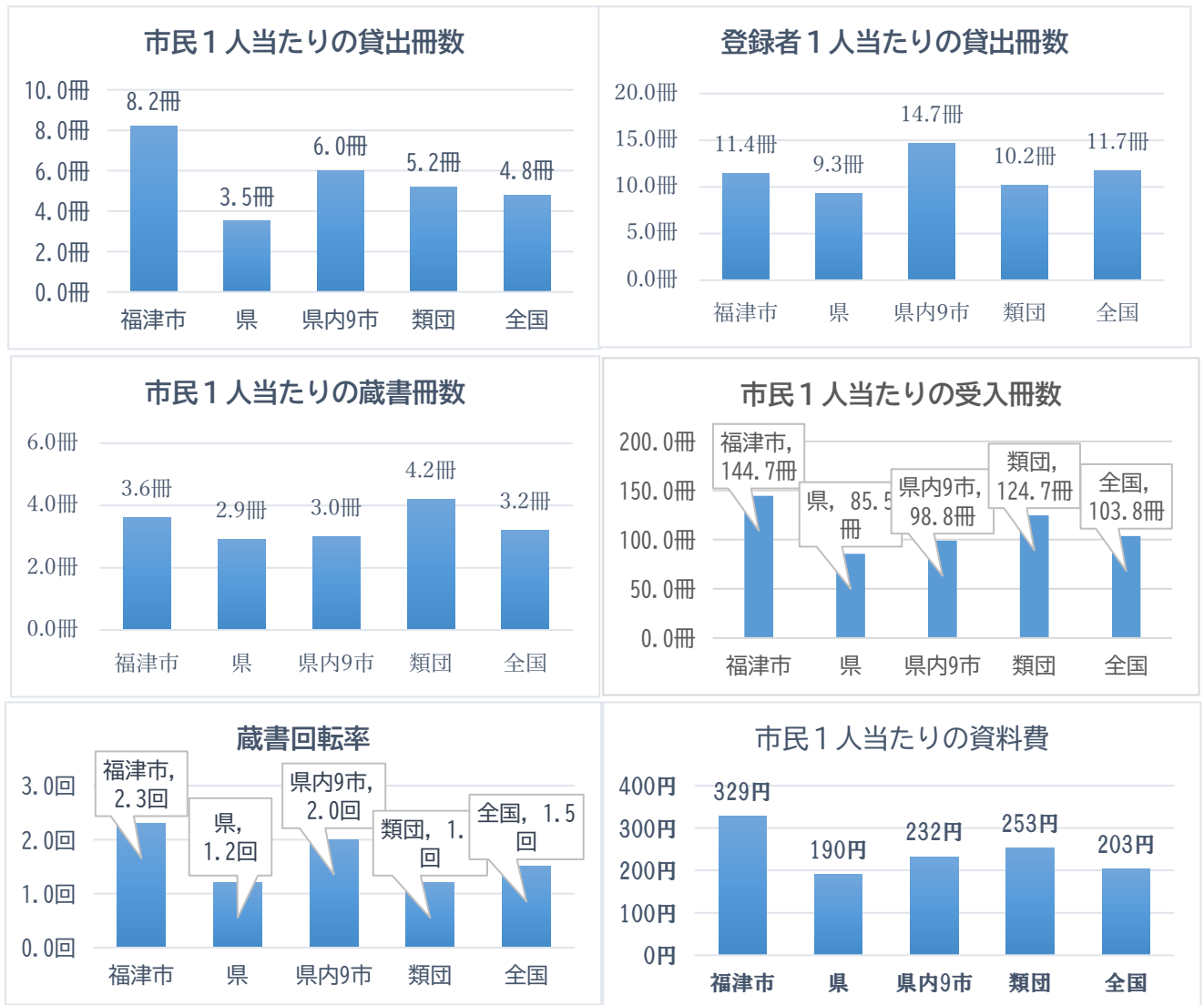
※「日本の図書館 2022」のデータをもとに算出

- ・人口:令和3(2021)年1月1日現在(全国市町村要覧)
- ・蔵書冊数・受入冊数(雑誌・視聴覚資料等を除く):令和4年3月31日現在(受入冊数:令和3年度実績)
- ・貸出数(雑誌・視聴覚資料等を含む):令和3年度実績
- ・市民1人当たりの資料費:令和2年度決算額

※県・全国:福岡県(県立図書館含む)・全国の市区町村(1,741 団体)の平均値

※県内9市:福岡都市圏の9市(宗像、古賀、春日、筑紫野、大野城、太宰府、那珂川、糸島、福津)の平均値

※類団:全国類似団体(人口6万人以上10万人未満)173市の平均値



(4) 令和4年度 福津市公共図書館の事業報告

①市立図書館

事業名	実施日等	事業内容等	
おはなし会			
日曜おはなし会	日曜日	15:00~15:30 (幼児対象) 【50回開催:参加者303名(子ども203名/大人100名)】	
木曜おはなし会 0・1・2	第2木曜日	11:00~11:20 (0~2歳児対象) 【12回開催:参加者199名(子ども134名/大人65名)】	
お父さんといっしょ!おはなし会	6/19(日)	日曜おはなし会にお父さんと一緒に参加してもらう。 父の日にちなんだ内容で視聴覚室にて実施。 【参加者13名】	
[ボランティア団体]			
おはなし会 (子ども向け)	第3木曜日	木曜おはなし会 福間津屋崎子ども劇場「おはなしの国」 【回数12回・参加者数139名】	 
	第2土曜日	土曜おはなし会 お日さまのうたサークル 【回数9回・参加者数49名】	
	第3土曜日	土曜おはなし会 ふくつ語りの会 【回数12回・参加者数264名】	
	第4土曜日	英語絵本おはなし会 九州産業大学学外連携課(志水教授) 【回数10回・参加者数66名】	
大人のための おはなし会	4/24(日) 12/20(火)	おはなし会 昔っコ 【回数2回・参加者数42名】	
	5/22(日)	びわの会 【参加者数20名】	
	8/6(土) 12/3(土)	たんぽぽ語りの会 【回数2回・参加者数51名】	
[子ども司書]			
クリスマスおはなし会	12/24(土)	小学4~6年生のふくつ子ども司書有志によるおはなし会。 【参加者12名】	
ブックスタート事業			
ブックスタート	年間14回	赤ちゃんに絵本の楽しさと「絵本」入りブックスタート・パックを贈る事業。4か月児健診時に実施。 【実施率98.8%(贈呈597人/対象者604人)】	
イベント(講座、講演会等)			

ブックツリー本の木 (こども)	4/23(土) ~5/25(水)	子どもの読書週間事業 来館者がおすすめの子どもの本を「木の葉の手紙」 に書いてポストに入れる。紹介してもらった本を展 示して貸出する。本の名前やおすすめ理由を書いた 「木の葉の手紙」は木に貼り付けて展示する。【参 加展示数 31 冊】	
夏休み工作教室	8/21(日)	福岡県電波適正利用推進員協議会委員の指導によ り、親子でラジオを作る。電波の正しい利用につい ても学ぶ。 【参加者 15 組 25 名】	
子ども絵画教室	① 9/17(土) ②10/10(月・祝)	図書館や本に親しみ、読書への興味を深めるため、 講師指導のもとで感じたイメージ、想像力・表現力 を大切に、納得のいく絵を描いて仕上げる。 【参加者 20 名：①10 名・②10 名】	
読書感想画展	10/28(金) ~11/6(日)	読書への関心を高めるため、本を読んで感じたこと を絵に表現してもらい、作品展示して来館者と読書 の楽しさを分かち合う。一般募集した読書感想画と 「子ども絵画教室」の作品を展示する。 【応募枚数 166 枚 (神東小 66、上小 4、絵画教室 21、窓口 75)】	
ぬいぐるみおとまり会	10/29(土)・30(日)	お気に入りのぬいぐるみを介して、図書館での活動 や絵本との出会いを演出するなど、絵本等への興味 関心を高め、本や図書館と子どもたちをつなぐ。 「おはなし会」「ぬいぐるみの様子を写したアルバ ムの贈呈」 【参加者 5 組 14 名】	
読書まつり	11/8 日(火) ~13(日)	子ども読書連絡協議会と共働で読書活動の推進をは かる。 ・読書ボランティア活動パネル展示 ・大人のためのおはなし会 (ふくつ語りの会・たん ぼぼ語りの会) 【参加者 26 名】 ・親子で楽しむおはなし会 (お日さまのうたサー クル) 【参加者 17 名】 ・子ども司書のおはなし会 【参加者 18 名】 ※写真 (上) ・展示「布絵本であそぼう！」 (津屋崎布絵本の 会、はまゆう) ・人形劇「はらぺこあおむし」「ソメコとオニ」 (人形劇団やじろべえの公演) ※写真 (中) 【鑑賞者 75 名】 ・絵本「へんしん すがたをかえるイモムシ」の昆 虫作家 桃山鈴子氏の講演 ※写真 (下) 【受講者 62 名】	
歴史講座	11/23(水・祝)	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」がもっと面白くなる 歴史講座 歴史上の人物について諸説織り交ぜながら語って もらうことで、歴史への興味関心を高め、読書の推進 につなげる。 【受講者 44 名】	

暮らしに役立つ セミナー	①11/22(火) ②11/29(火) ③12/ 1(木)	(1)アクティブシニアの健康講座 「健康」をテーマに、①口の中を整えるセルフケア (写真 上)、②血流をよくするための生活習慣、③ 自分でできる骨盤体操(※写真 下)に関する「健康講 座(全3回)」を開催するとともに、関連書籍を紹介 することで、健康に関する基礎的な知識や習慣な どを身につけてもらう。 【受講者①17名 ②17名 ③21名】 ※「持続可能なまちづくりに関する包括連携協定」 に基づく花王グループとの連携事業	
	12/2(金)	(2)遺言を活用した相続対策とシニア世代の資産管 理 「相続」をテーマに、遺言の活用事例、相続税対 策、信託制度の説明や関連書籍の紹介などを通し て、相続や資産管理に関する基礎知識を身につけて もらう。 講師(1級ファイナンシャル・プランニング技能 士)【受講者22名】 ※「地方創生に関する包括協定」に基づく西日本シ ティ銀行との連携事業	
本の福袋	1/5(木)	テーマごとにおすすめ本3冊の福袋をつくり、袋の 表にテーマカードを貼付する。子ども用はさらに対 象年齢も表示。普段自分では選ばない本との偶然の 出会いを楽しんでもらう。 【大人用50袋・子ども用50袋】	
年賀状展	1/5(木) ~9(月・祝)	来館者に季節を感じてもらい図書館に親んでもら うためのロビー展示。年末に一般募集した作品を展 示する。募集時は関連図書を表示して貸出も行う。 【応募作品数88点】	
電子図書館利用 講座	2/18(土)	電子図書館の紹介と利用促進のための講座「電子図 書館を利用しよう!」を開催。 【参加者18名】	
ふるさと歴史講 座	3/15(水)	福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書 館づくりを進めるための講座。行政等との連携によ り、まちの歴史、特色など魅力的な情報や学びの場 を提供。 「わがまちの歴史に触れる」文化財担当 【受講者18名】	
親子ワークショ ップ	3/18(土)	一般向けの著作者の講演などを通じ、本との出会い や図書館を知ってもらうことで、読書の推進や図書 館の利用促進につなげる。 児童文学作家・手作りおもちゃ研究家 木村研氏の 親子ワークショップ 【参加者44名】	
ライブラリー コンサート	3/19(日)	近隣の音楽演奏家などの演奏を通して「図書館や図 書館資料」を身近に感じてもらう利用促進につなげ る。 ハーモニカと電子ピアノによるジャズコンサート 【観覧者数55名】	

映画会	① 4/16(土) ②12/10(土) ③ 3/25(土)	映画(所蔵DVD)を上映することで図書館の利用促進(図書館への親しみ、読書・資料への興味関心、資料貸出の増加)につなげる。 こども向け(学校の長期休業中に開催) ①おしりたんてい【参加者37名】 ②新美南古傑作童話集【参加者14名】 ③ファンタジア【参加者6名】	
	3/25(土)	大人向け オックスフォード英語大辞典誕生の実話(言葉や文字の素晴らしさ)を描いた映画「博士と狂人」を上映。 【参加者4名】	
季節装飾(玄関ロビー)			
七夕飾り	7/1(金)~10(水)	来館者に季節を感じてもらい図書館に親んでもらうための展示事業。図書館ロビーに笹と短冊とこよりを用意して、来館者に短冊に願いを書いて、笹に飾りつけてもらう。 【短冊数229枚】	
クリスマスツリー飾り	12月	来館者に季節を感じてもらい図書館に親んでもらうためのロビー展示。夕方17時以降はイルミネーションライトが点灯する。クリスマスツリーのロビー展示にあわせて、クリスマス関連書籍(児童書)をコーナー展示し貸出する。	
各種展示			
子ども司書おすすめの本	8月	子ども司書養成講座のなかで制作した、「みんなに読んでもらいたい本」の紹介カード(POP)を、本と一緒に展示して貸出も行う。 【紹介カード数50点】	
ヤングアダルト特設コーナー	随時更新	□特集コーナー 令和4年度の特集:ファンタジー小説。内容を紹介するPOPとともに展示した。	
		□SDGs 若い世代がSDGs(持続可能な開発目標)の知識を深めたり、取り組みを知ったりすることで、身近な問題として興味・関心を高めてもらう。	
		□なるには!! 中高生が進路や将来の夢について考えたり悩んだりする際に、ヒントや選択肢を与えてくれる本を紹介する。	
健康・医療コーナー	随時更新	健康や医療に関する資料を集めた「健康・医療コーナー」を設置し、健康の維持向上、病気の治療や予防に役立ててもらおう。 令和4年度:健康づくりや病気の予防等に役立つ図書を集約し、それらの中から知りたい情報を見つけやすいよう、各資料に件名表示を行った。	
がん情報コーナー	通年	がん関連の図書を集約し配架していた「がん情報コーナー」に、がんに関する資料や冊子をまとめた「がん情報ギフト(国立がん研究センター寄贈)」を展示し、利用者に提供。	
特集コーナー	毎月更新	児童書(月1テーマ)と一般書(月2テーマ)を棚ごとに分けて、その時々にあわせた特集を組んで様々な本を紹介して利用促進につなげる。	
	随時	安倍晋三氏、石原慎太郎氏、アントニオ猪木氏、大江健三郎氏の追悼、本屋大賞候補者の本など、その時々話題の人の著書を展示して貸出も行う。	



<p>広報ふくつの特集コーナー</p>	<p>毎月更新</p>	<p>広報ふくつの特集記事等にあわせ、紙面の紹介と関連書籍を展示し貸出を行う。 令和4年度の特集記事:あなたらしくあなたの色で(4月)、すてきな本と出会う夏(7月)・運動と健康(8月)、児童虐待について考える(11月) 「空き家」の所有者になったら(1月)など</p>	
<p>リサイクル (本の無料配布)</p>			
<p>図書館資料のリサイクル</p>	<p>随時</p>	<p>除籍となった図書(一般書・児童書等)や保存期限の切れた雑誌を利用者に無料で配布する。 【年間提供数:8,656冊(一般書4,787冊・児童書374冊・参考図書1,232冊・雑誌1,867冊・寄贈396冊)】</p>	
<p>読書ボランティア養成・派遣事業</p>			
<p>読書ボランティア派遣事業</p>	<p>要請なし</p>	<p>読書ボランティアを要望のある団体・事業所等へ派遣する。</p>	
<p>読み聞かせ講座</p>	<p>6/15(水) ・22(水)・29(水) 7/7(木)</p>	<p>読書ボランティア養成のための4回連続講座。【受講者数12名】</p>	
<p>お話を語る入門 (ストーリーテリング) 講座</p>	<p>10/21(金) 11/4(金)・11(金) ・25(金)・30(水) 12/1(木)</p>	<p>読書ボランティア養成のための6回連続講座。【受講者数6名】</p>	
<p>子ども司書養成事業</p>			
<p>子ども司書養成講座</p>	<p>7/24(日)・26(火) ・29(金)・30(土) 8/2(火)・7(日)</p>	<p>子どもの読書環境を整える取り組みの一環として、読書活動を推進するリーダーを養成する。 小学生4～6年生を対象に公募し読書や図書館に関する講義や実習など5講座を開催。「ふくつ子ども司書」に認定し、市立図書館や学校等で活躍できるように支援する。 7/24 開講式・図書館について 7/26 司書の仕事を体験 7/29 図書館の本で調べる 7/30 本のポップカード制作 ※写真(上) 8/2 ビブリオバトル ※写真(中) 8/7 認定式 ※写真(下) 【認定者25名(参加同数)】</p>	
<p>子ども司書フォローアップ講座</p>	<p>11/5(土)・ 12(土)・13(日)</p>	<p>養成講座認定者へのフォローアップ講座 「読み聞かせをやってみよう」、「おはなし会のリハーサル」、「子ども司書のおはなし会」 【参加者数13名】</p>	
<p>子ども司書の日 (活動)</p>	<p>長期休業期間</p>	<p>養成講座認定者(子ども司書)の活動体験の場 ・夏休み(5日間)【参加者数23名】 ・クリスマスおはなし会【参加者数7名】 ・春休み(7日間)【参加者数32名】</p>	

施設向け絵本セット貸出事業			
施設向け絵本セット貸出サービス	通年	市内の幼保施設に絵本セット（30冊程度）を貸出。絵本に出合う機会を増やす。 【貸出園数 11 園：延べ回数 78 回】	
学校連携・支援事業			
電子図書館活用事業	7月～	市内小中学校の児童生徒や教職員が「電子図書館」を教育用IDで利用し、教育活動や読書活動に活かせる「電子図書館活用事業」の実施。 【貸出点数 19,787 点】	
学校図書館連携（支援）事業	通年	子どもの読書活動への支援、読書環境の充実、学校との連携強化等といった観点から市の図書館資料の有効活用を図る。 ・対象資料（福津市の図書館資料） ・貸出期間（各学校により異なる） 【実施校：福間小学校（おおむね学期ごと）】 【実施校：福間南小学校1年（1～2か月ごと）】	
図書館見学			
小学校（2年生）	① 6/9（木） ② 10/19（水）	図書館の役割や本の魅力に触れることで、公共図書館や学校図書館への興味・関心を高め、読書活動の推進につなげる。図書館の説明、開架室・バックヤードの見学、図書の貸出、おはなし会・ストーリーテリングなど ①神興小【50名（1班15名・2班35名）】 ②福間南小【35名】 ※写真	
小学校（4年生）	11/16（水）	施設（図書館）を見学・体験する（役割、業務内容、利用の仕方などを学ぶ）ことで、社会科の学習内容を深めたり、施設を利用しようとする意欲などを養ったりする。図書館の説明・質問、開架室・バックヤードの見学、図書の貸出など 津屋崎小【171名（1組～5組）】	
保育園	12/1（水）	図書館の案内、絵本の紹介、おはなし会など ふくつライオン保育園 【ひまわり組（2・3歳児）13名】	
職場体験・図書館実習・インターンシップ			
職場体験	中止	働くことの楽しさ、厳しさや達成感を味わったり、異世代との交流によるコミュニケーション能力を高めたり、社会の基本的なルール、マナーや言葉遣いなどを身につけてもらう。	
図書館実習・インターンシップ	要請なし	図書司書養成時の図書館現地実習生や就業体験に参加する学生などを受け入れる。	
研修・危機管理訓練			
職員研修	通年	スキルアップ研修や実務研修等に参加し、先進情報の収集、資質・能力の向上に努める。 研修・セミナー等の参加回数 40回（63名） □組織内研修 12回：23名（災害対策本部設置運営研修、管理職対象マネジメント研修、人権研修、SNSとコンプライアンス研修、メンタルヘルス研修等） □専門研修等 26回：38名（福岡県公共図書館等協議会館長等研修会・第2回職員研修会、全国公共図書館研究集会、全国図書館大会群馬大会、子どもの読書活動研修会、	

		NPO ブックスタート全国研修会、市町村ゼミナール、自治体 DX 業務改革セミナー等 口その他（自己研鑽） 2回：2名（ビジネスアサーショントレーニング等）	
消防避難訓練	12/22(木)	災害、火災発生時、来館者や職員自身の安全確保に必要な知識と行動（危機管理意識、避難誘導、救急処置、消防への通報等）を身につける。 福津消防署、市職員、委託職員で実施	
図書館協議会			
第1回	7/27(水)	令和3年度 図書館年報 令和4年度 図書館運営方針・事業計画 福津市立図書館資料収集方針・福津市図書館評価等	
第2回	12/8(木)	福津市立図書館資料収集方針、福津市図書館評価 福津市子ども読書プラン	
第3回	2/24(木)	令和4年度 事業報告（実績・予定）及び利用状況 令和5年度 図書館運営方針（案）・事業計画（案） 福津市図書館評価、福津市子ども読書プラン	
その他			
【学校・行政・関係機関等との連携展示】			
人権ポスター展示	7/1(金)~27(木)	人権政策課による、市内の小中学校生の人権ポスターのロビー展示。 [人権政策課]	
世界アルツハイマーデー	8/26(金)~9/28(水)	地域包括支援センターによる PR のためのロビー展示と特集コーナーで関連図書を展示し貸出をする。 [地域包括支援センター]	
男女共同参画月間	9/1(木)~30(金)	福津市の男女共同参画月間にちなみ、特集コーナーで関連図書の展示、貸出、資料配布をする。 [男女共同参画室]	
公文書館出張展示	10/4(火)~14(金)	公文書館の活動を紹介するパネル展を開催。 [福岡共同公文書館]	
福津市小中学生読書感想文コンクール	11/18(金)~23(水)	福津市の読書感想文コンクールの特選作品を館内掲示（開架室入口正面）で紹介する。 [小・中学校]	
福間中発！福津市未来会議企画書展示会	12/6(火)~17(土)	3年生(福間中)が総合的な学習で SDGs を学び、考えた「福津市の人たちが幸せ (Well-being) になるアイデア(企画書)」をギャラリーに展示。 (福間中学校)	
相続対策&空き家活用セミナー（知って役立つ相続と空き家活用のお話）	1/5(木)~31(火)	都市管理課のセミナーや広報ふくつ（特集記事）にあわせて、展示書架にポスター掲示と関連図書を展示・貸出をし、セミナーへの参加促進を図る。 [都市管理課]	

シニア世代向け スマホ講座	1/17(火) ~2/17(金)	高齢者サービス課主催の「スマホ講座」と連携し講座 や特集コーナーで関連書籍を紹介・展示し貸出をす る。 [高齢者サービス課]	
自殺予防月間	3/1(水)~31(金)	福祉課との連携により特集コーナーで関連図書の展 示、貸出、資料配布を行う。 [福祉課]	
【意向調査・サービス向上等】			
図書館利用に関 するアンケート	1/20(金)~29(日)	市立図書館に関する満足度の把握や、意見・要望等 を聴取し、図書館サービスの向上・改善につなげる ために実施する。 集計結果は館内および図書館ホームページに掲示 利用者アンケートにおける満足度(回答数 390 件) ・図書館への満足度 96.4% (有効回答に占める 「満足」・「やや満足」の割合) ・図書館に対する総合的な評価 2.53 点 (3 点満 点)	
子育て応援マガ ジン「のびの び」の刊行	毎月	子育て世代や子どもの成長に関わる人に図書館の役 立つ情報を届ける。 「シビックプライドの醸成に貢献する図書館づく り」の事業として、子育て世代に図書館の情報が届 くように子育て応援マガジンを刊行した。 【7月創刊】	
児童生徒向け図 書館案内の作成	12月	公共図書館や書籍の紹介を行うことで児童生徒の興 味関心を高め図書館の利用と読書活動の推進につな げる。 児童生徒向け図書館案内(リーフレット)の作成、 配付・配信による図書館のPRやおすすめ本の紹介 [2月配付・配信]	
蔵書点検	5/26(木) ~6/1(水)	蔵書点検/書架整理/清掃作業 点検資料数(貸出中の資料除く) 185,311 冊(点) [開架室: 92,157 冊・閉架書庫等 93,154 冊]	

②カメラステージ図書館

事業名	実施日等	事業内容等	
各種イベント・講座及び講演会			
はじめての図書 館	5/8(日)	図書館の利用カード未登録者を対象に利用案内を行 うことで、継続した図書館の利用と読書推進を促 す。「はじめての図書館(冊子)」を使用した利用案 内と図書館見学を行い、オリジナルのしおり作りが できるワークショップを開催。 【参加者: 7 名 (子ども 3 名/大人 4 名)】	
雑誌リサイクル	5/11(水)~22(日)	保存期間の過ぎた雑誌や不用になったマンガなど を、お客様に無償で提供し資料を有効利用する。雑 誌は一人 5 冊までの制限付き、マンガは無制限。SDG s 12の「つくる責任、つかう責任」を掲げて開催。 リサイクルの対象: 2,481 冊。【参加者: 286 名 /	

		持ち帰られた冊数：1664冊（雑誌463冊 漫画1,201冊）	
多文化理解ワークショップ 「せかいをのぞいてみよう」	6/19(日)	外国のおはなしや歌とクイズ大会。様々な国の文化や言葉、わらべうたやクイズを通し、世界の国々に興味を持つきっかけをつくる。 【参加者：14名（子ども9名/大人5名）】	
ほしにねがいを...	6/30(金)～ 旧暦 8/4(木)	七夕イベントとして、七夕に星をモチーフにした短冊へ願い事を書いていただき、児童コーナーに装飾。【参加者：180名】	
大人向けワークショップ 「豆本の世界へようこそ」	7/17(日)	手のひらサイズの豆本作りを行うことで本への興味を惹き、図書館の利用促進を図る。マメカバ本舗かわばたつや氏を講師に迎えての豆本づくりワークショップ。【参加者：7名】	
ぬいぐるみおとまり会	おはなし会 /おあずかり 7/23(土) おむかえ /絵本の紹介 7/24(日)	お気に入りのぬいぐるみが夜の図書館で過ごし、おとまりをすることによって、図書館や本に関心を持つきっかけをつくる。夜の図書館で過ごすぬいぐるみの様子を撮影したミニアルバムのプレゼントと、おすすめ絵本の貸し出し。 【参加者：5組(子ども8名/大人5名,計13名)】	
防災リテラシー 水害についても っと知ろう！	7/28(木)～ 8/29(月)	水害に対する必要な備えの紹介と必要性、災害への大切な心構えや知識の紹介。マイタイムラインの記入例の展示と、各ご家庭に応じて作成できるマイタイムラインの用紙も配布。台風・豪雨などの自然災害に備え、いざというときに慌てず行動できるよう、防災に関する知識を普及させることを目的とする。	
夏休み工作教室 「ラジオを作ろう！」	8/11(木・祝)	福岡県電波適正利用推進員協議会委員の指導のもと、電子ラジオを製作し電子工作などの科学の本を紹介する。 【参加者：29名（子ども18名/大人11名）】	
こわいおはなし会	8/13(土)	怖いお話をテーマにした夏らしいおはなし会を開催。 【参加者：9名（子ども7名/大人2名）】	
選書ツアー	9/26(月)	図書館ユーザーが紹介したい本を選書することにより、図書館への親しみや図書館業務への理解を深めてもらい、図書館の利用促進を図る。 【参加者：5名】※展示12/22(木)～1/23(月)	
子ども向けワークショップ 「貼り絵でハロウィン」	10/1(土)	絵本作家として有名な「せな けいこ」の表現方法の一つである貼り絵を実際に体験することによって絵の描かれ方に着目し、絵本そのものにより親しみをもっていただき利用促進につなげる。 【参加者：10名（子ども7名/大人3名）】	
絵本専門士がおしえる 「読み聞かせのキソとコツ」	10/16(日)	読み聞かせボランティアの活動をされている方や、読み聞かせに関心のある方に向けて、読み方、台詞、感情の入れ方等を学ぶ場として、読み聞かせに必要な基礎知識と技術の向上を図る。絵本専門士(柴田香氏)を講師として、読み聞かせのコツや基礎知識が学べる講座を開催。講師：絵本専門士/柴田 香氏 【参加者：11名】	

子育て支援親子 でつくる手形ぞ うさん	11/4(金)・5(土)	図書館が赤ちゃん連れでも安心して利用できる場所 であることを知ってもらい、お客様同士での交流を 図る。絵本の紹介や読み聞かせ、手遊びを交えなが ら赤ちゃんの手形をとり、成長記録を残す。【参加 者：17名(子ども9名/大人8名)】	
ふくつの自然を 考える ウミガメのふる さと津屋崎	11/12(土)	ふくつの自然とウミガメに関する講話 講師：市職員(うみがめ課) 【参加者：10名(子ども2名/大人8名)】	
読み聞かせの持 つチカラ 親子で読み聞か せを楽しもう!	11/20(日)	子どもの本専門店「エルマー」代表の前園敦子さん を講師に読み聞かせの効果についての講演会を開 催。 【参加者：34名(子ども16名/大人18名)】	
サンタクロース をつくろう	12/1(木)~25(日)	来館者にサンタクロースのオーナメントを作成して もらい、館内装飾することで自分たちの図書館に親 しみをもってもらい、小さな子どもでも簡単に作 成できるよう、サンタクロースのパーツを準備し、 完成後のサンタクロースを館内に飾る自由参加のワ ークショップ。パーツは200個作成し、無くなり次 第終了。【参加者：200名】	
バリアフリーワ ークショップ 手話で楽しむ クリスマスおは なし会	12/3(土)	おはなし会で手話を体験することにより、手話を身 近に感じてもらう誰もが平等に利用できる図書館と して親しんでもらう。手話サークル「ひまわり」の 会の方々にご協力いただき、クリスマスの雰囲気 を楽しみながら、大人も子どもも楽しく手話を体験 できるおはなし会を開催。読み聞かせ同時手話通訳/手 話で歌うクリスマスソング/質疑応答【参加者：11 名(子ども6名/大人5名)】	
本の福袋	1/5(木)~8(日)	普段は手に取らないジャンルの本との出会いを提供 し、読書の幅を広げ子ども達の読書推進につなげる ことを目的とする。子どもを対象とした本の福袋を 作成し、乳児から小学生までの年代に応じた本を選 出。どんな本が入っているか想像しながら選べるよ うにテーマのみを表示し、中の本が分からないよう に貸し出し。(※1人1袋まで) 【参加者：30名】	
シニアサポート 「認知症の方の 声を聴き、誰も が住みやすい街 をつくりません か」	1/18(水)	認知症について正しく理解し不安を解消するための 基本的な知識を習得する。(展示)認知症について 学べるパネルを図書館内に展示。子どもへも理解を 深めるクイズラリーも同時開催。(講座)講座とDV D視聴、グループワークを実施。それぞれが抱える 不安や悩みを共有し、認知症についての理解を深め て不安を解消する。認知症を正しく理解し不安を解 消するための基本的な知識を習得する。【参加者： 10名】	
映画上映会 「老後の資金が ありません」	1/21(土)	図書館所蔵の視聴覚資料(DVD)を使用し、映画を上 映することで図書館に親しみをもってもらい、利用 を促すきっかけにする。図書館所蔵の上映権付DV D「老後の資金がありません」を上映し、原作資料 を展示・紹介。上映時間：115分 【参加者：44名】	

高校生が大人に すすめる この一冊	1/26(木)～ 2/20(月)	福岡県立光陵高等学校の生徒さんに、大人に読んでほしい本を POP で紹介してもらうことにより、地域の学校との連携を図りながら本を通じての世代間交流を目指し、今後の図書館利用の促進と読書推進につなげる。大人にすすめたい本を POP で紹介してもらい、本と一緒に展示。 【参加者：18名】	
500 ねんつづく ゲーム やってみようこ ども将棋	2/12(日)	ゲームは対戦相手もオンライン上という現代の子どもたちに、日本に昔からある将棋に触れるきっかけをつくり、異世代間交流を図る。将棋未経験者から初心者までの子どもを対象に、それぞれのレベルに合わせて楽しめる将棋教室を実施。講師：神坂 勇造先生【参加者：12名】	
大人のためのお はなし会 日本のむかし話	3/10(金)	昔話の素晴らしさや不思議な世界観を楽しんでもらい、図書館利用へつなげる。ボランティアグループ「たんぼぼ語りの会」による大人を対象としたおはなし会。テーマは「日本のむかし話」で、全国を旅するように6つの県のお話で構成されたストーリーテリング(語り)。【参加者：21名】	
子ども司書	3/18(日)	子どもたちに司書の仕事を通して図書館の魅力を伝えることで、読書の楽しさや、本と人との結びつきを体験してもらう。 内 容：図書館見学/カウンター業務/本の装備/おすすめ本の選定・POP作り。 【参加者：5名(小学校5年生)】	
ビブリオトーク	3/18(日)	図書に対する関心を広げ、図書館の利用促進を図る。発表する時間を5分から3分に短縮したミニビブリオバトルを実施。テーマは「教科書にのっていたらやる気がでる本」とし、発表者が紹介した中で一番読みたくなった本に投票しチャンプ本を決定する。 【参加者：8名(発表者3名/観覧者5名)】	
各種展示			
一般特集	毎月更新	時節に合わせた本の紹介	
児童特集	毎月更新	時節に合わせた本の紹介	
ヤング特集	3か月毎に更新	中高生向けの本をテーマに沿って展示と常設『ひとやすみ…』の本棚の設置。学校や日常生活の中で心が疲れている中高生に向けて、気分転換をしたい時や「ひと休み」になるようにというメッセージを込めた本棚。	
広報ふくつの本棚	毎月更新	広報ふくつのテーマに沿った本を、カメラアステージ図書館のスタッフがセレクトして紹介。地域の特色があふれた媒体である広報と連動することで、地域の目的や目標に合った展示とする。	

フリーペーパーコーナー 「SUNDAY」コラボ本棚	毎月更新	フリーペーパー「SUNDAY」とのコラボ企画。カメラアステージ図書館がおすすめする”図書館が選んだ今月の「本」今読みたい本”を毎月掲載していただき、館内の特設コーナーにて掲載中の本を紹介。その他フリーペーパーも設置・配布。	
7類：芸術ミニ展示	3か月毎に更新	4月～5月『写真は語る』 6月～8月『音楽家の素顔』 9月～11月『大人の絵本』 12月～2月『堅苦しくないクラシック』 3月『演劇の世界』	
追悼	随時	今年度にお亡くなりになった方々の著作や関連資料を展示 (藤子不二雄 [△] /英国エリザベス女王/山脇百合子/三遊亭圓楽/松井直/永井路子 / 大江 健三郎)	
がんコーナー	随時更新	4類の場所にがんに関するパンフレットを設置し、正しいがん情報の発信を行う。	
防災コーナー	随時更新	ハザードマップ、防災資料コーナーの設置、防災展示。	
ビジネスコーナー	随時更新	ハローワーク求人情報の設置。(求人情報は週1回更新) 協力：ハローワーク	
片山茂のPOPコーナー	随時更新	片山茂さん(かたやまPOP工房)オリジナルPOPで本の紹介をする本棚。	
ふくつなたな	通年	福津市に関連する情報提供のコーナーとして、資料の展示やフリーペーパーの配布を実施。	
あなたがすすめるこの一冊	通年	地域の方々による、おすすめ本の本棚	
地域のチラシ・パンフレット	随時更新	地域のチラシ・パンフレットの設置	
バリアフリーコーナー	通年 (年間3回更新)	バリアフリー読書支援のコーナー。コミュニケーションボード、リーディングトラッカー、筆談ボードを設置し、読書バリアフリー法やLLブックも紹介。	

福津のめぐみで料理名人	6/30(木)～8/31(水)	福津市健康福祉部子育て世代包括支援課より、依頼された展示企画。夏休みチャレンジ企画として、子ども向けの料理本や、郷土料理の本を集めた展示。	
夏休みの宿題応援コーナー	6/30(木)～8/31(水)	夏休みに向けて、読書感想文の課題図書や自由研究の本など、夏休みの宿題をサポートする本を集めた特設コーナーを設置。	
としょかんのミニ水族館 福津の生き物博士になろう	7/30(土)～8/29(月)	夏休み期間中に水の生き物と関連本を一緒に展示することで、リアルタイムで水槽の中にある生き物の調べ学習や自由研究につなげる。津屋崎の海と川でとれる生き物を各水槽に入れて展示し、関連本の紹介。夏休みの宿題サポートにつながるクイズの実施や、「上西郷川図鑑」の配布。 協力/市職員（福津市まちづくり推進室）	
ハロウィンの本棚	9/29(木)～10/31(月)	ハロウィン関連の本棚を特設し、絵本を中心に集めた展示や装飾とクイズラリーも実施。	
ウミガメの特設展示	9/30(金)～11/12(土)	ウミガメの剥製と関連資料の特設展示。「ふくつの自然を考える～ウミガメのふるさと津屋崎～」の連動本棚 協力：うみがめ課	
絵本専門士おすすめの本棚	10/27日(木)～11/28日(月)	10月に開催した「絵本専門士がおしえる 読み聞かせのキソとコツ」にご参加いただいたお客様の声を反映し、絵本専門士が紹介したおすすめ本の特設展示。	
サンタクロークの絵本	12/1(木)～25(日)	「サンタクロースをつくろう」のワークショップ連動本棚。 クリスマスの装飾と共にサンタクロースの絵本を紹介。	
シニアサポートの展示	12/22(木)～1/23(月) 展示/クイズラリー	認知症について分かりやすく学べるパネルの展示と、子どもへも理解を深めるクイズ 【参加者：65名】	
選書ツアー特設本棚	12/22(木)～1/23(月)	9月に開催した選書ツアーで選書していただいた本と、選書者の書評(ポップ)を展示して紹介。	
月例行事(おはなし会)			
NPO 法人 福間津屋崎子ども劇場 おはなしの国	第2水曜日	わらべ歌・読み聞かせ 対象年齢：乳幼児 【参加者：139名(子ども69名/大人70名)】	
お日さまのうたサークル おはなしのへや	第2土曜日	読み聞かせ・紙芝居・エプロンシアター・手話でうたおう 対象年齢：幼児～小学校低学年 【参加者：57名(子ども35名/大人22名)】	

図書館見学・視察			
勝浦小学校	6/30(木)	図書館見学(生活科見学) 【見学者: 勝浦小学校2年生 11名(+引率者3名)】	
津屋崎小学校	10/13(木)	図書館見学(わたしの町発見) 【見学者: 津屋崎小学校2年生 32名(+引率者3名)】	
光明幼稚園	11/17(木)	図書館見学(勤労感謝の日) 【見学者: 光明幼稚園 47名(+引率者6名)】	
職場体験			
職場体験	9月(中止)	司書の仕事を通して図書館の魅力を伝えることで、読書の楽しさや、本と人との結びつきを体験してもらう。	
危機管理訓練・研修・講習			
研修	5月/6月/9月 10月/11月/12月 2月/3月	福岡県公共図書館等協議会館長等研修会/個人情報研修/危機管理研修/ユニバーサル研修/接客接客研修(ロールプレイ)/「地域課題の橋渡し役となる図書館の新たな可能性」オンライン研修/人権研修/エコアクション研修/福岡県公共図書館等協議会 第2回職員研修会/福岡県公共図書館等中堅職員研修/手話講習会/接客接客	
防災訓練・研修	7/19(火) 3/14(火)	消防避難訓練/防災機器取扱い講習/救命救護講習/大雨災害時対応研修/消防避難訓練/AED オンライン研修	
その他			
蔵書点検	4/11(月)~16(土)	休館日数: 5日間 蔵書冊数: 57,110冊(歴史資料館資料は除く) ※配置換えのため、大幅な書架移動も実施	
図書館だより発行	年4回(6月・9月 12月・3月)の季刊発行	図書館だよりの発行。館内に図書館だよりのテーマに沿った資料を集め連動展示を実施。 夏号「今年の夏を元気に乗り越えるために!」 秋号「津屋崎近郊の秋祭り-御神幸祭-」 冬号「来て!見て!座って!図書館の椅子とソファ」 春号「春に芽吹く葉草 よもぎの豆知識」	
お客様調査 / お客様の声	12/1(木)~7(水)	お客様(30名)に直接意見を伺う形式の聴きとり式お客様調査 ※毎日の図書館へ寄せられた「お客様の声」は、通年実施で毎月館内の掲示板にて回答。	

③市立図書館関係団体実施事業

事業名	実施日	事業内容等	場所
各種展示			
絵画展	4/12～4/17	絵画展（福津絵画同好会）	ギャラリー
	6/14～6/19	絵画展覧会（遊画空良風）	
	9/7～9/11	鳥井日本画教室展示会（TORII 絵画造形教室）	
	10/4～10/9	水彩画展示会（水彩画 木曜教室）	
	10/10～10/16	絵画展示会（水彩画同好会 楽画喜）	
	11/15～11/20	福津絵画同好会「絵画展」（福津絵画同好会）	
書写・書道展	6/7～6/12	おもしろ漢字書写展（日中文化芸術交流会「串門」）	
	9/29～10/2	習字教室合同作品展（正蓮寺習字教室・あおぞら教室）	
	3/7～3/12	書道作品の展示会（新水書道教室）	
写真展	8/5～8/7	原爆写真・絵画展示（被爆写真を観る会）	
	9/13～9/18	写真作品展（写楽福津）	
	10/18～10/23	第22回写真展（フォトクラブ福津）	
その他の展示	5/10～5/15	絵画・折り紙建築展示（二人展：今村雄吉・有座まさよ）	
	6/30～8/2	市内小中学生が作成した人権パネルの展示（人権政策課）	
	7/26～7/31	作品展示（アメリカンフラワー 花びより）	
	11/22～11/27	Xmas+十二支飛び出すカード展（郷育カレッジ：有座まさよ）	
	12/6～12/17	福間中発！福津市未来会議企画書展示会（福間中学校）	
	2/16～2/26	飲酒運転による交通事故や理不尽に命を奪われた犠牲者を悼む「福岡都市圏広域行政推進協議会ミニ・生命のメッセージ展」（まちづくり推進室）	
ボランティア団体のイベント			
POP UP 絵本づくり	12/15	とびだす絵本（おはなしの国）【参加者数 23 名】	研修室 1
おすすめ本の紹介	11/23	本の交流会 この本おすすめ（おはなしの国）【参加者数 41 名】	
絵本作家おはなし会	2/21	豊田 一彦氏の講演会・交流会（おはなしの国）【参加者数 101 名】	

(5) 福津市図書館の経営方針（抜粋）

福津市の図書館は、すべての国民に図書館利用の権利を保障するという公立図書館の基本理念¹や「ユネスコ公共図書館宣言 1994 年」の意義²を踏まえるとともに、市の将来像のために設定された7つのテーマ別目標像³および福津市教育総合計画が掲げる基本目標⁴が地域社会に実現されるように、図書館の基本理念と基本方針を次のように定めます。

(1) 基本理念

であう、つくる、つなぐ「知の交流拠点」
（市民の人生と地域を豊かにする図書館）
～本(情報)と人、人と人が出会い、思いを紡ぎ、新たな文化を創り、次代に繋ぐ～

図書館は、地域の情報拠点、生涯学習の中核施設等であるとともに、さまざまな世代が自由に利用でき、いろんな知識や経験、価値観をもった市民が集う交流施設です。

福津市の図書館は、基本理念に「市民の人生と地域を豊かにする図書館(知の交流拠点)」を掲げ、市民同士のつながり、一人ひとりの自己実現、誰もが地域の担い手や未来の創り手となれるよう、市民生活を支える「知の拠点」とともに、人づくりと地域づくりを担う「交流拠点」として、新しい交流や文化の創造に貢献します。本(情報)との出会い、人との出会い、本や学び、交流を通して、多様な思いを紡ぎ、まちづくりや人づくりの活動の輪を広げ、新たな文化を創造し、未来に繋いでいきます。

(2) 基本方針

1	市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」 ◎本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり
2	市民と共働し、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」 ◎ともに支え合い高め合う図書館づくり
3	郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」 ◎シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

基本理念である「であう、つくる、つなぐ『知の交流拠点(市民の人生と地域を豊かにする図書館)』」を目指すためには、資料を収集・保存・提供し、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するという図書館本来の目的に加え、市立図書館に「学びの拠点」、「創造と交流の拠点」、「知の集積拠点」としての機能を付加することが不可欠です。

¹ 公立図書館の基本理念:図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することをもっとも重要な任務とする(図書館の自由に関する宣言)。

² ユネスコ公共図書館宣言の意義:公共図書館は、地域の情報センターであり、個人および社会集団の生涯学習、独自の意思決定および文化的発展のための基本的条件を提供する。

³ 7つのテーマ別目標像:市の将来像を実現するために設定された「1. 共 育:誰もが「未来の創り手」として育つまち」「2. 地域自治:人がつながり活躍する共助と共働のまち」「3. 健 康:健康で生き生きと暮らせるまち」「4. 安全安心:安全・安心・快適に住み続けられるまち」「5. 環境保全:自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち」「6. 地域産業:地域の産業が経済を支えるまち」「7. 観光振興:福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち」のこと。

⁴ 福津市教育総合計画の基本目標:「あたたかな未来を創る 福津の教育 ～人・自然・文化がつながる 人づくり・まちづくり～」

例えば、知識・学びの場に加え、つながる場を核とする図書館とするために、図書館を3つの空間(書齋的な空間、静かな活動空間、賑わい(学び・創造・交流)の空間)にゾーニングし、「滞在型交流施設」として施設再生(リニューアル)・機能充実を図る必要があります。

また、シビックプライド(まちに対する誇りや愛着)の醸成・向上に寄与したり、郷育カレッジをはじめとする関係団体(機関)や、郷づくり推進協議会などの地域コミュニティ、教育・文化・環境・福祉等から生まれる目的別コミュニティなど、市民活動・共働活動の団体が行う、まちづくり、人づくりを支えたりすることも使命の一つになると考えます。

福津市は、現在の世代と将来の世代の両方の希望を満たすような持続可能なまちづくりをめざしています。一人ひとりの人生や地域社会を豊かにし、未来に向けて持続可能な社会の担い手を育てる人づくり、まちづくりに貢献することが、市民とともに進化し続ける図書館としての役割になると言えます。

そこで、基本方針に3つの方向性と取組方針を示し、基本理念の実現を図るとともに図書館サービスを提供する役割を果たしてまいります。なお、基本方針に基づく、具体的な取組(事業)については、毎年度、図書館運営方針と事業計画を策定し実施していきます。

①市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」

◎本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり

- 市民のニーズに応える幅広い資料の充実を図ります。
- 市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援します。
- 利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境づくりを進めます。

②市民と共働し、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」

◎ともに支え合い高め合う図書館づくり

- 他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化を図ります。
- 市民参画、市民との連携・共働の体制づくりを支援します。
- 仕事や活動に役立つ資料等の提供を行います。
- 課題解決に役立つレファレンスの充実を図ります。

③郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」

◎シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

- 福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めます。
- 学校との連携・共働を深め、さまざまな個性や市民性が育つことを支援します。
- 郷土の歴史や文化を学ぶための環境整備を図ります。

□基本理念と基本方針等の関係図

基本理念 (目指す姿)	であう、つくる、つなぐ「知の交流拠点」 (市民の人生と地域を豊かにする図書館) ～本(情報)と人、人と人が出会い、思いを紡ぎ、新たな文化を創り、次代に繋ぐ～		
基本方針 (3つの方向性)	市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」 ◎本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり	市民と共働し、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」 ◎ともに支え合い高め合う図書館づくり	郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」 ◎シビックプライド(まちに対する誇りや愛着)の醸成に貢献する図書館づくり
視点 (ねらい)	共有・共同 ▷滞在型図書館としての環境整備 ▷生涯学習活動の推進	共働・共創 ▷課題解決型図書館への進化 ▷交流・共働活動への支援	共感・共育 ▷学びの循環・ひとづくりへの貢献 ▷行政、教育機関等との連携
取組方針	□市民のニーズに応える幅広い資料の充実を図ります。 □市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援します。 □利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境づくりを進めます。	□他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化を図ります。 □市民参画、市民との連携・共働の体制づくりを支援します。 □仕事や活動に役立つ資料等の提供を行います。 □課題解決に役立つレファレンスの充実を図ります。	□ふくつの魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めます。 □学校との連携・共働を深め、さまざまな個性や市民性が育つことを支援します。 □郷土の歴史や文化を学ぶための環境整備を図ります。
主要施策	・基礎的な図書館サービスの充実 ・社会的包摂、ユニバーサルデザインの視点に立った読書の「バリアフリー化」 ・多文化サービスの提供 ・広報活動・情報発信、インターネット等による利用促進、情報の提供 ・電子書籍(非来館型サービス)の導入 ・カメラステージとの連携、役割分担による図書館運営 ・多様な学習機会や発表の場の提供	・地域やまちづくりの課題解決のための情報提供 ・市民が交流する場や機会の提供 ・幸せのまちづくりラボ(仮称)、市民共働・公民連携によるまちづくり活動への情報提供・活動場所の提供 ・地域コミュニティ・目的別コミュニティとの連携 ・読書ボランティア、施設管理運営サポートボランティア等の育成、連携及び支援 ・暮らしや仕事に役立つセミナーの開催や各種専門機関との連携	・地域資料や行政資料の収集・活用・保存 ・郷土学習や次世代への継承に役立つ資料のデジタルアーカイブ化 ・歴史資料館との連携による歴史・郷土学習への支援 ・社会に開かれた教育課程の実現に向けた学校(学校図書館)への支援と連携 ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供 ・子どもの読書活動の推進

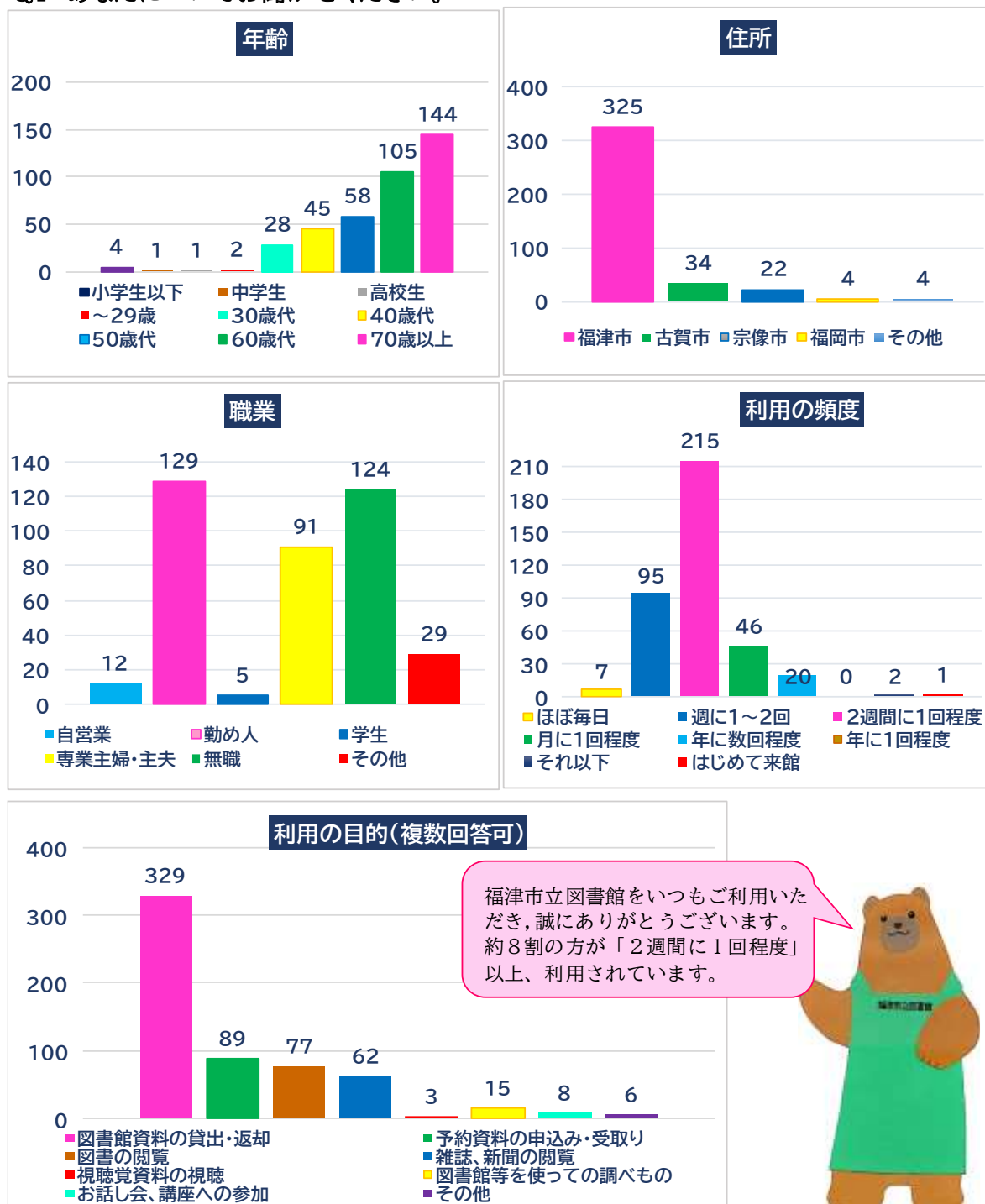
(6) 図書館利用に関するアンケート

令和4年度 福津市立図書館利用に関するアンケート 集計結果

[令和4年度 福津市立図書館利用に関するアンケート]にご協力いただき 誠にありがとうございました。頂いた貴重なご意見を 今後の図書館運営の参考にし 皆様のご要望にお応えできるよう一層精進してまいります。

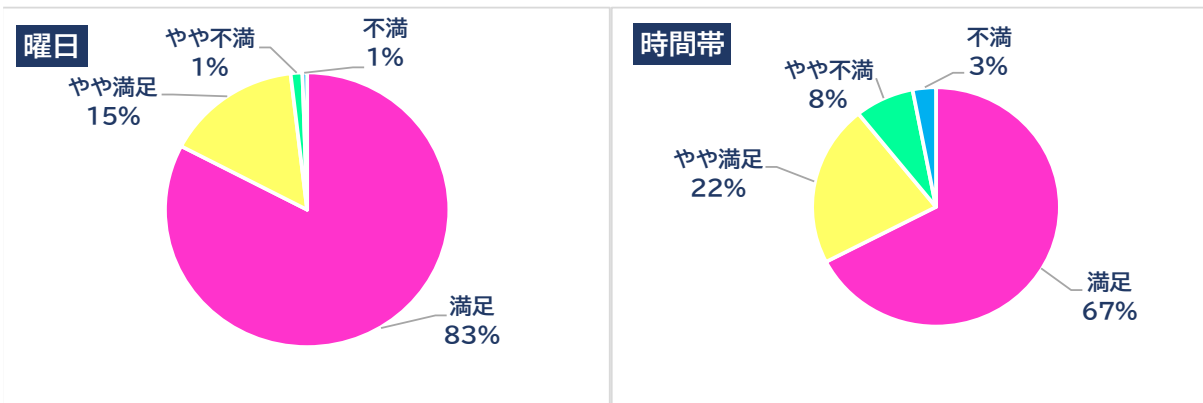
※ご回答いただけなかった項目を除いて集計しています。(実施月:R5年1月・回答者数:390名)

Q1 あなたについてお聞かせください。

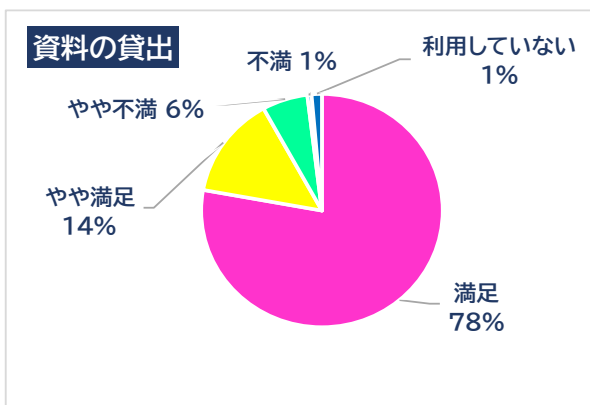


Q2 図書館サービスについて 次の項目について、どれくらい満足されていますか。

■ 利用できる曜日・時間帯



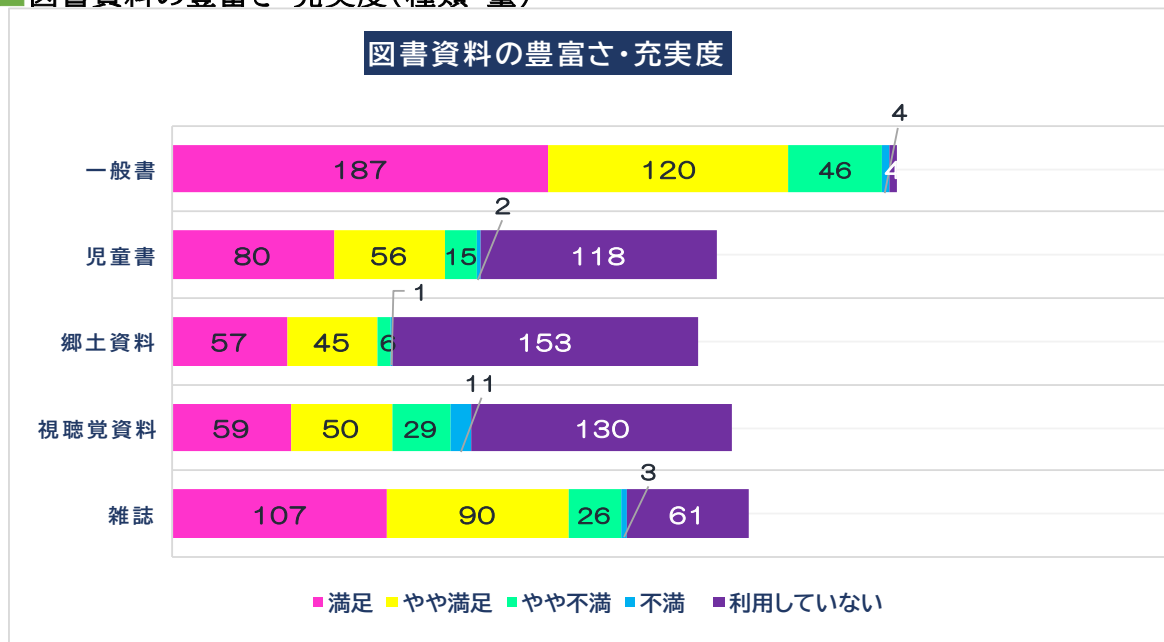
■ 資料の貸出



福津市の図書館は「市民の人生と地域を豊かにする図書館」を基本理念に掲げています。皆様の生涯学習の場となりますよう 今後も図書館資料の充実や様々な図書館サービスを提供してまいります。

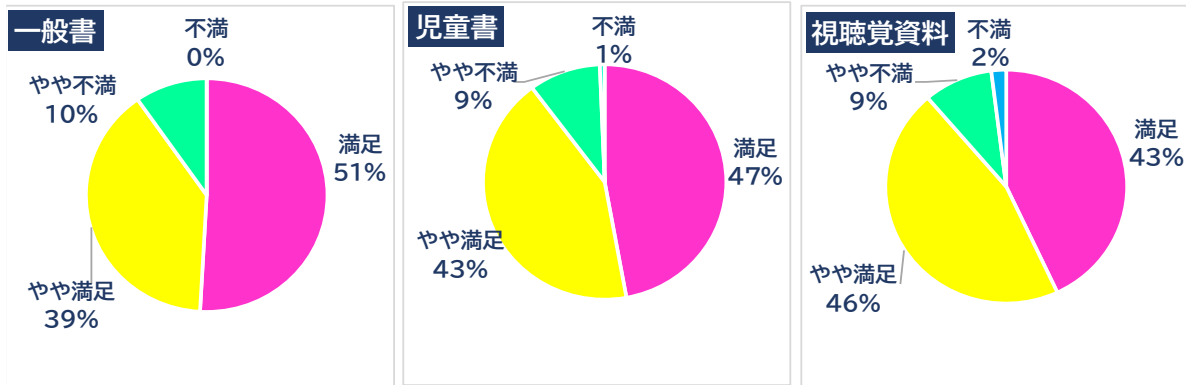


■ 図書資料の豊富さ・充実度(種類・量)



■資料の探しやすさ

◇案内表示



案内表示・資料の並べ方等について改善を重ねておりますが、1割の方がご満足いただけていない結果となりました。初めて利用される方にも資料の場所が分かるよう、表示の仕方や配置方法等を工夫してみます。



[児童コーナー]

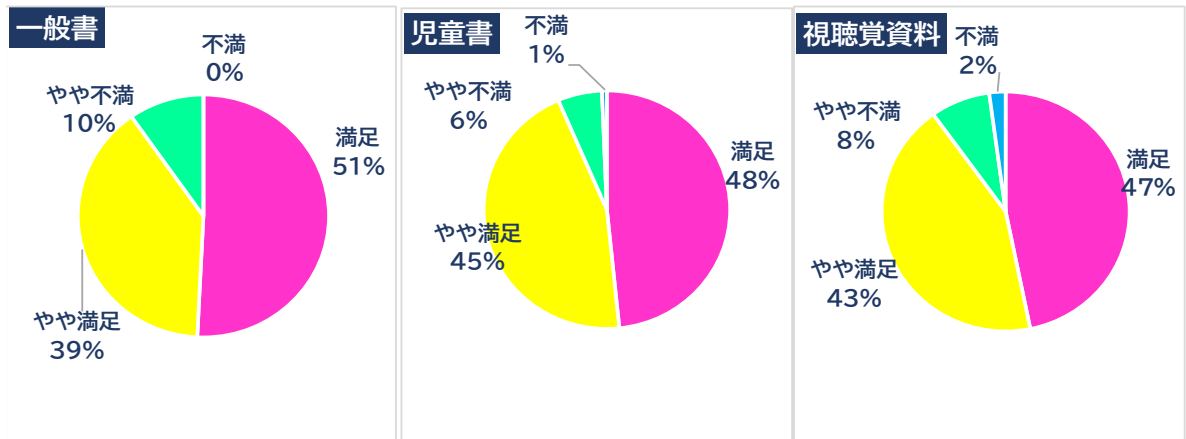


[一般書コーナー]



[視聴覚コーナー]

◇資料の並べ方



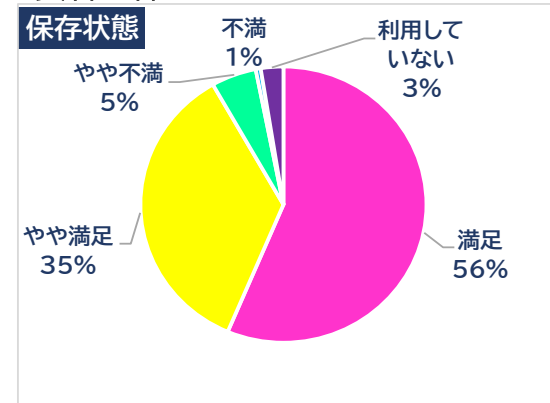
[医療・健康コーナー]

医療・健康情報コーナーやお勧め本のPOPを作成して、皆様に手に取っていただけるよう工夫しました。魅力的な書棚になるようさらに努力いたします。

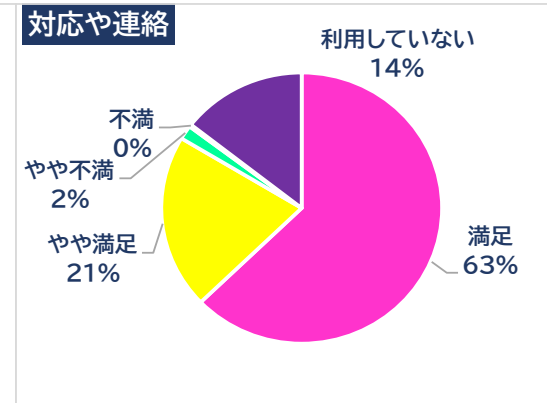


[一般書コーナーのPOP]

■資料の管理



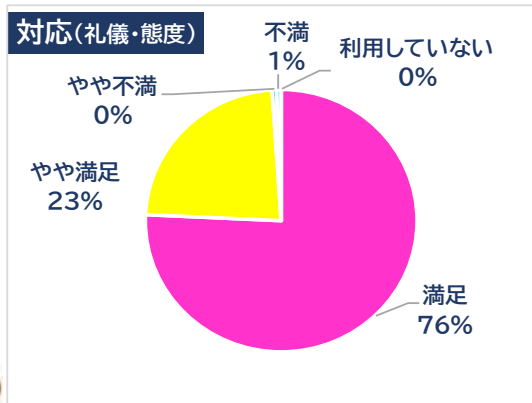
■予約・リクエスト



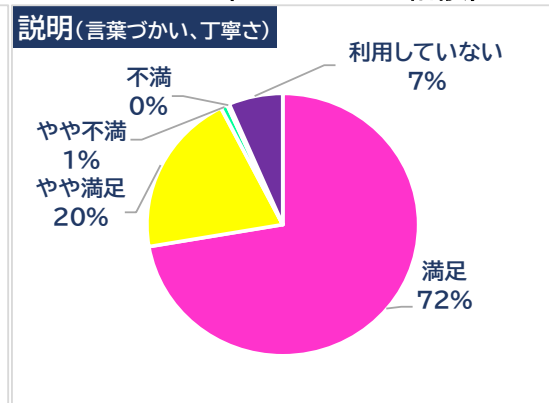
令和4年度(4月～2月)における予約の受付件数は月平均約3,600件です。その内訳はカウンター窓口約800件、インターネット約2,700件、利用者端末約100件となっています。皆様のリクエストに迅速に対応できるよう効率的な予約システムを構築してまいります。



■スタッフの接遇、コミュニケーション



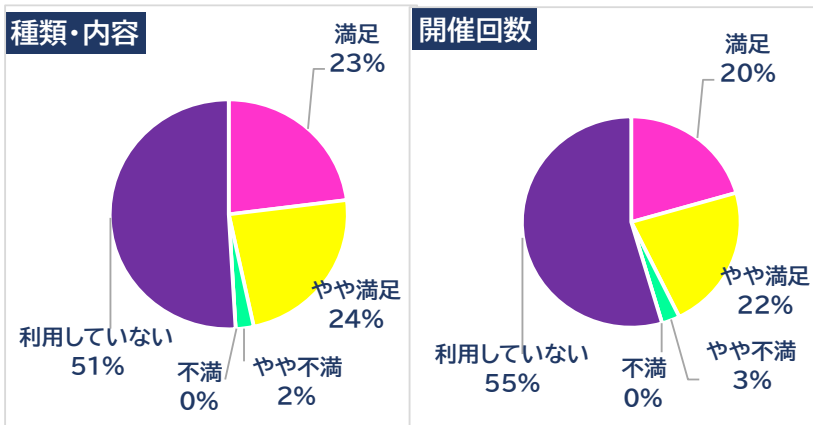
■レファレンス(スタッフへの相談)



皆様が快適にご利用いただけるよう誠心誠意対応し、学びや生活に役立つ「知の情報拠点」として 皆様のニーズにお応えできるよう より一層努力を重ねます。

■展示会・講演会・読書イベント

[子ども司書養成講座のお勧め本POP]

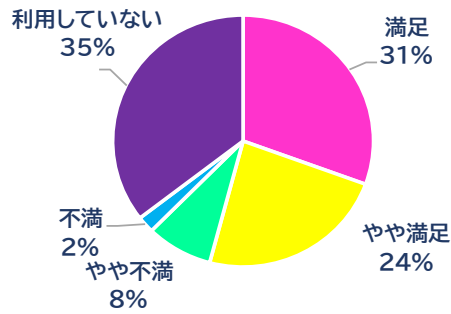


今年度も新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえながら、様々なイベントや行事に取り組みました。次年度は、さらに多くの方にご来館いただけるよう、関係機関(団体)等とタイアップし、市民の皆様にご喜ばれる図書館サービスを展開してまいります。



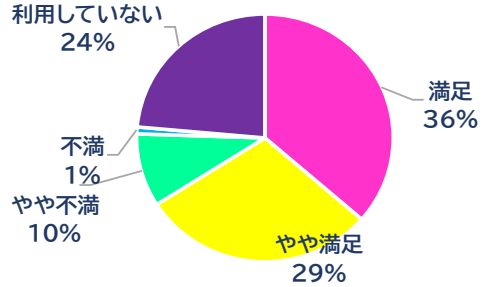
■ ホームページ

使いやすい・機能



■ 利用者端末

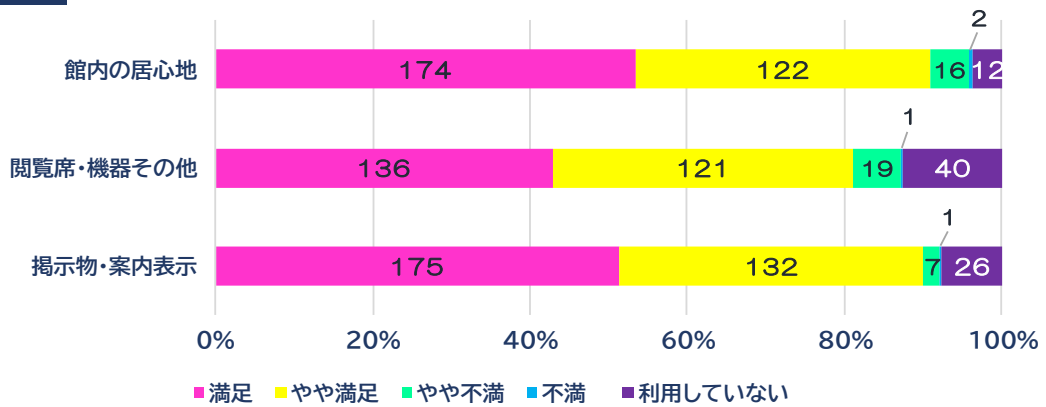
使いやすい・機能



新着情報や各種イベント情報などをご提供できるよう図書館ホームページの随時更新や市SNSの活用を行いました。これからも最新の情報をいち早くお届けします。

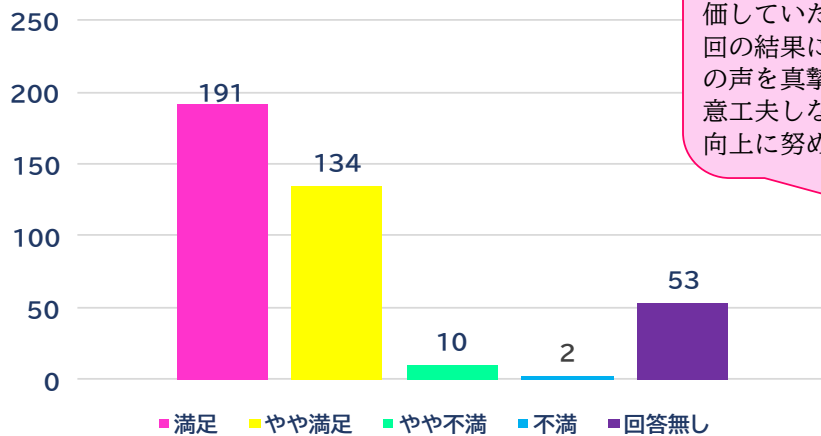
■ 館内の状況(施設・設備・掲示物など)

館内の状況



■ 総合的な評価

図書館への満足度



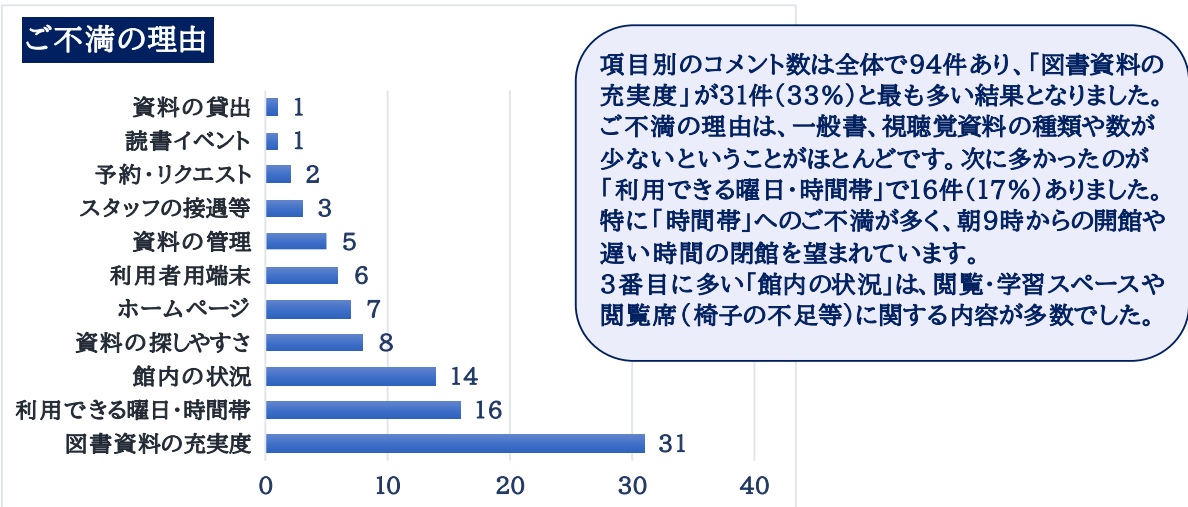
皆様に満足していただけるサービスの提供を心掛け、日々努力した結果を評価していただけたのだと思います。今回の結果におごることなくアンケートの声を真摯に受け止め、これからも創意工夫しながら、さらなるサービスの向上に努めます。



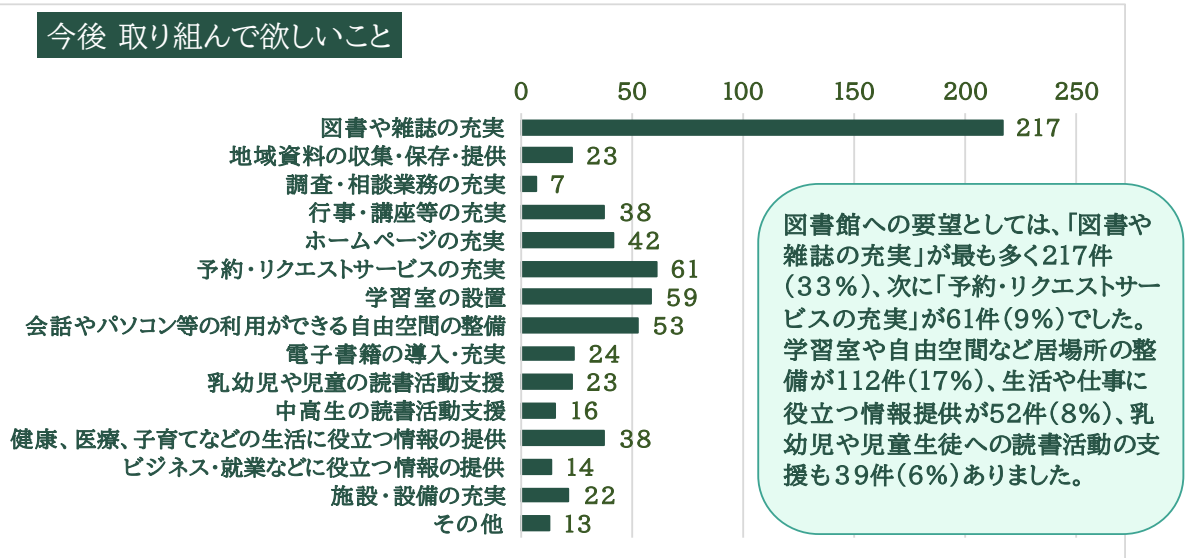
総合的な評価(図書館への満足度)は**2.53点**でした。(昨年度**2.46点**)

※評価は**3点満点**(満足3点・やや満足2点・やや不満1点・不満0点)です。

Q3 Q2で「不満」とした項目について、その理由をお書きください。



Q4 今後、図書館でもっと取り組んでほしいことを選んでください。



福津市の図書館は、市民の暮らし、人づくりやまちづくりに貢献し、市民に愛され、市民とともに進化し続ける図書館を目指します。市民の皆様の声を図書館経営に活かせるよう、より一層努力いたしますので、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(7) 福津市の図書館

①市立図書館



市立図書館は、1992(平成4)年4月に福間町役場(現福津市役所)横に開館しました。本との出会い、人との出会い、本を通して人と人をつなぐために、また、情報発信だけでなく市民の夢と創造のどちらも交差する場となれるよう、「夢と創造の交差点。」をコンセプトとしています。

◎構造 鉄筋コンクリート造 3階建て
◎占有延床面積 2,761.20㎡
うち1階(1,161.98㎡)・2階(792.34㎡)

市民が気軽に立ち寄れるコミュニケーションスペースとして、館内の床、書棚や机などの木目色を明るい色で統一し、親しみやすく、ぬくもりがあり、静かな雰囲気が漂う図書館です。市民の読書への関心・意欲はとても高く、また読書ボランティア等との連携・共働によって、市民1人当たりの貸出資料数や蔵書の回転率は、県内トップクラスの水準にあります。

現在、これらの役割に加え、市民一人ひとりの生涯にわたる学習活動を支え、暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ情報の提供を行うなど、人づくりと地域づくりに貢献できる「知の交流拠点」として、市民に愛され、親しまれ、市民とともに進化し続ける図書館をめざしています。



②カメラアステージ図書・歴史資料館



津屋崎庁舎(旧津屋崎町役場)を改装し、2017(平成29)年7月に開館した「図書・歴史資料館」の外観は、津屋崎千軒のイメージに併せ「蔵」をコンセプトにしています。蔵は古くから家財や貴重なものを貯蔵するための建物であり、次代に引き継ぐ役割をもっています。

2階のカメラアステージ図書館は、約5万冊の図書資料を配置し、レファレンス機能を持たせています。「子どもの声が聞こえる図書館」をコンセプトに、すべての人が気兼ねなく利用できる図書館として、暮らしの中の滞在型交流施設となっています。その日の自分の目的に応じて使い分けができる「学習室」「親子読書室」「子育て室」のほか、1階にはカメラカフェも設置し、一人でも、親子でも、仲間とでも気軽に楽しめる心地よい居場所、魅力的な空間を提供しています。

図書や歴史資料等の文化と情報を集積し、新しい世代に引き継いでいくこの施設は、福津市の「蔵」であり、文化活動の推進や地域の賑わいの創出を進めるための、地域の拠点として大きな役割を果たします。



◎構造 鉄骨造 3階建て(うち2階部分)
◎占有延床面積 1,325.00㎡(1階の閉架書庫整理室等を含む)
・図書書架(全11コーナー)
・親子読書室(38.2㎡)、子育て室(18.0㎡)、AVブース(14.2㎡)、学習室(50.0㎡)
・貸出カウンター(49.6㎡)、作業室(12.7㎡)、多目的室(33.5㎡)

福津市の図書館評価

令和5(2023)年9月

福津市教育委員会 教育部 郷育推進課

〒811-3293

福岡県福津市中央1丁目1番1号

TEL 0940-52-5078 FAX 0940-43-9004

E-mail goiku@city.fukutsu.lg.jp

◎福津市立図書館

〒811-3217

福岡県福津市中央1丁目1番2号

TEL 0940-42-8000 FAX 0940-42-8118

E-mail library-fukutsu@wine.ocn.ne.jp

◎カメラアステージ図書館

〒811-3304

福岡県福津市津屋崎1丁目7番2号

TEL 0940-72-1207 FAX 0940-72-1210

E-mail lib@camellia-st.com